

論文

Time, Newsweek 及び *Asahi Evening News* における
Premodifier としての Adjective Compound の用法

大 滝 真

“On the Use of Adjective Compounds as Premodifiers
in *Time, Newsweek* and *Asahi Evening News*”

目 次

- I. はじめに
- II. Premodifier としての Adjective Compound
 - 1. Premodification の概念
 - 2. Premodifier の一般的特性
 - 3. 2要素から成る premodifier
 - 4. 3要素以上から成る premodifier
 - 5. 特殊な構成を持つ premodifier
- III. Adjective Compound の形成過程
 - 1. Syntactic compound と Asyntactic compound
 - 2. 複合形容詞化へのプロセス
- IV. *Journalese* に見る Premodification の傾向
 - 1. 雑誌・新聞の記事から
 - 2. 英訳文から
- V. Adjective Compound の分類
- VI. 分類項目別用例
- VII. 結語

1. はじめに

昨今の *journalese* によく見かける表現形態の一つに、*premodifier* として限定的に用いられる *Adjective compound* がある。現代英語、特にジャーナリズムに顕著に認められる ‘*Premodification*’ という言語的傾向の表れでもある。例えば *deficit-cutting bonds*, *a gas-guzzling car*, *a fact-finding mission* のように、‘-ing’ を用いた複合語を始めとして、*bombed-out homes*, *the sun-drenched course*, あるいは *tight-fisted entrepreneurs*, *gilt-edged securities* のように ‘*past participle*’ を用いた複合語とか、*rock-bottom prices*, *leading-edge technology* のように ‘*noun*’ 主体のものから構成された複合語などがあり、その他、‘*particle*’ を伴った *in-kind payment*, *an off-track betting booth*, *a head-on collision* のような形態のもの、‘*phrasal verb*’ に由来する *drive-by shootings*, *the stolen getaway car*, ‘*verb*’ 中心の *a fly-by-night salesman*, *a can-do truth teller*, 更には ‘*adjective*’ を後置した *a violence-prone area*, *techno-savvy youngsters* と言ったような様々な形式の複合形容詞が英字新聞や雑誌に登場する。

今挙げたような主として 2 語から成る複合語の他にも、*the touch-and-go situation*, *on the spot coverage* のようなタイプのものや、*off-again, on-again affairs*, *top-of-the-line French Mirage fighters*, *make-my-day provocation*, *my soon-to-be-replaced computer fan* など、複合形容詞の構成は多岐にわたっていて、かなり複雑である。

本稿は、過去数年間（1990～1996年）における英字新聞・米国系雑誌を調査対象として、用例を広く収集し、限定的に使用された複合形容詞の多数の用例を分類・吟味し、現代英語の *journalese* の中で、どのような形態の複合形容詞が実際にどう使われているかという調査・分析を基に、現代英語における *Premodification* の実態を明らかにしようとする試みである。

複合形容詞の型（タイプ）は、その数が非常に多く、言及すべき範囲を総て扱うには紙幅が足りないため、本稿でカバー出来なかった主要なタイプ（

3種)については、機会を改め別稿で言及・考察するつもりである。

調査資料として使用した雑誌・新聞は、主として以下の3種である。

- ① (米週刊誌) *Time*—Nov. 11, 1991より May. 20, 1996まで (TM)
- ② (米週刊誌) *Newsweek*—Oct. 8, 1990より May. 27, 1996まで (NW)
- ③ (英字新聞) *Asahi Evening News*—Oct.15, 1990より Apr. 17, 1996まで (AEN)

上の末尾の () 内は、本稿で使用した略字である。本文中に引用した用例の出典は、用例のすぐ後に [] 付きで明記した。

II. Premodifier としての Adjective Compound

1. Premodification の概念

近年の英語マスメディアに見られる顕著な言語的傾向の一つとして、複合語 (compound) による名詞の限定的修飾用法を挙げることが出来る。メディアの中でも特に英字新聞や雑誌にこの傾向が強い。ここで言う用法は、形容詞的修飾語群が名詞の直後に置かれてその名詞を直接修飾する用法 (postmodification) ではなく、2語以上の要素から構成される語群が修飾・限定される語句の中心を成す主要語 (head-word) の直前に位置し、複合形容詞 (adjective compound) となって、その主要語の意味を限定する前位修飾 (premodification) の用法を指している。

例えば, *dead-end economies*, *three small-time con artists*, *the bone-crushing recession*, *a hands-on designer*, *in-flight plumbing*, *a pumped-up president*, *a no-lose situation*, *fuel-efficient turbofan modem*, *some unexpectedly top-notch goods*, *a long-sought molecule*, *battle-scarred Kuwait*, *face-to-face talks*, *soon-to-be crown prince*, *a winner-takes-all situation* などのハイフン付き下線部がこの用法に当り、主要語を直接的に修飾する複合形容詞としての機能を果している。

このような場合、複合語を形成している構成要素の品詞・形態、及びその配列法は、ごく単純なものから複雑なものへと多岐にわたっており、後述するように何種類もの型に分類されるので、追って項目別に逐一検討・記述するつもりである。構成要素を連結するハイフンについては、書き手により、あるいは米語・イギリス英語の差によっても多少のばらつきが見られ、スタイルブックも hyphenation の不統一を指摘している¹⁾。

2. Premodification の一般的特性

上に説明した用法を一層明確にするため、前位修飾語 (premodifier) として使用されている複合形容詞の具体例を以下に示すことにする。

国営企業 a *state-run* enterprise
ほろ酔いの若者 a *top-heavy* youth
全面戦争 an *all-out* war
高級レストラン an *up-market* restaurant
時差ボケの乗客 a *jet-lagged* passenger
一方的な勝利 a *lopsided* victory
赤外線追尾式ミサイル a *heat-seeking* missile
ミスが目立つ試合 an *error-strewn* game
事故多発地域 *accident-prone* areas
一面に氷が張った池 an *icedover* pond

上記の下線部がそれぞれ複合形容詞としての機能を持ち、限定用法 (attributive use) として直後の名詞を修飾している。

ほとんどの場合、複合形容詞は 2 語の要素 (free morpheme) から構成されていて、その 2 語の品詞や語形はかなり多様である。通例ハイフン (hyphen) によって緊密に結合され、その結合形は頻繁に使用されるプロセスを経て、そのあるものは名詞を修飾する機能を帯びた慣用的複合形容詞と

して固定化し, *lexical item* の一つに加えられる傾向を持っている。

人口に膾炙し, 慣例化 (制度化とも言う) した結果, 構成要素間の緊密度が増すことにより, ハイフンが取れて 2 要素が合体し, 1 語になった複合語 (*solid compound*) もある。例えば

a *lackluster* speech (ぱっとしない演説), a *giveaway* price (捨て値)
a *godsent* rain (恵みの雨), *bloodshot* eyes (充血した眼)
an *evergreen* pine (ときわの松)

などがこの例である。例外的には, 'egghead' のように最初からハイフンなしで綴られている語もある²⁾。

一方, 叙述的 (*predicative*) に用いられた場合は, 次の (a) ~ (d) の例のように, 通例ハイフンが省かれ, 複合語の型によっても異なるが³⁾, 名詞を修飾しない補語として使用されることもある。(attrib. = *attributive*; pred. = *predicative* の略)

- (a) { That is a thoroughly *up-to-date* store. (attrib.)
That store is thoroughly *up to date*. (pred.)
- (b) { This is a *newly-designed* sports car. (attrib.)
This sports car is *newly designed*. (pred.)
- (c) As it turns out, the old-timer was far *better off*. (pred.)
- (d) The baby was so lively, yet so *well mannered*. (pred.)

このような *hyphenation* の用法に関して, *OED* は例えば *well-off*, *wide-awake* のような複合語について, 叙述的に用いる時には, 通例ハイフンを使用せず 2 語で表記することを指摘している⁴⁾。

3 語以上から成る複合語は, 叙述用法では (a) のようにハイフンなしで用いるのが通例である⁵⁾。*hyphenation* の問題は英語においては一律ではな

く、前述した如く書き手、印刷業者、スタイルブックによっても不一致が見られ、“The world of the hyphen is anarchic.”と Theodore Bernstein が述べているほどである⁶⁾。不必要に多用したり、あるいは逆に、不可欠なハイフンの使用を怠って文意の不明瞭や誤解を招く例は、枚挙にいとまがない。要は、複合語の構成要素間の関係を把握し易くさせ、出来るだけ曖昧さや混乱を生じさせないようにするための手だての一つであると言えよう。一般に、米語よりイギリス英語の方がハイフンを保持する傾向が強い⁷⁾。

premodifier としてしか使用出来ない複合形容詞も多数あり、例えば

god-awful (または*Godawful*) (ぞっとするような; ひどい), *button-down* (獨創性に欠ける), *longago* (昔の), *longtime* (昔からの), *telltale* (秘密を暴露する), *after-hours* (勤務時間外の), *on-site* (現場・現地の), *hit-and-run* (ひき逃げの), *state-of-the-art* (最新式の), *surface-to-air* (地对空の), *all-time* (空前の)

などは、叙述用法には使用不可とされているものである。

本来、普通に見られる統語的構成に基づいた要素の配列を持つ複合形容詞の他に、近年益々その傾向が顕著になって行くと認められる型がある。それは統語的規則に従わない語順を持つタイプで、例えば *the Swedish-built X-200 train* (スエーデン製の～), *an idiot-proof device* (低能でも出来る～), *Shanghai's stock-crazy public* (株に狂った～) などの類のもので、短的に、明示的に表現出来る長所を持つため、新しい造語法として今後一層多用されるパターンになるものと推測される。

以上見て来た通り、複合形容詞の形成過程は多種多様で、そのプロセスを十把ひとからげに要約することは無理であるが、語形成の一つの基本形としては、例えば *low key*, *high stakes*, *top drawer*, *hard line*, *pie in the sky* のような名詞句 (nominal phrase) から、*bail out*, *pop up*, *stand up*, *see through* などの句動詞 (phrasal verb) から、更に、生産性の高いソースとして *round*

the clock, face to face, from door to door, at the last minute などの副詞句 (adverbial phrase) から、構成を多少変える場合もあるが、ハイフン付きで複合形容詞に転化したものも少なくない。(例. *high-stakes* [いちかばちかの], *bail-out* [緊急対策の], *last-minute* [ぎりぎりの, 土壇場の] 等)

これとは逆に、例えば新語 (初出年1970) に属する *drop-dead* (adj. = 'sensationally striking or attractive' - WNC D⁹) のように、複合形容詞から短期間のうちに副詞 (句) に品詞転換して使用された用例も、まれではあるが極く少数ある。

3. 2要素から成る premodifier

以下に、最近の英字新聞、米国系の雑誌の中で実際に使用された用例を挙げることにする。(出典は略す)

- ① *blue-chip stocks* (優良株) / ② *a born-again Christian* (徹底したクリスチャン) / ③ *ripoff prices* (不当な高値) / ④ *cutting-edge technologies* (最先端技術) / ⑤ *stepped-up vehicles* (高出力化した車輛) / ⑥ *his long-awaited first novel* (待ちに待った彼の処女小説) / ⑦ *blue-blooded Texan, Baker* (名門出のテキサス人, ベーカー) / ⑧ *low-end consumer goods* (低価格の消費財) / ⑨ *back-channel diplomacy* (裏ルート of 外交) / ⑩ *a no-lose situation for Teheran* (イラン政府にとって成功間違いなしの状況) / ⑪ *a hands-on test of Soviet weaponry* (ソ連製兵器の実地試験) / ⑫ *the usual jump-off point for a trip to the island* (島旅行への通常の出発点) / ⑬ *a squeaky-clean reformer* (高潔な改革者) / ⑭ *a fund-raising trip to Nordic countries* (北欧諸国への資金調達旅行) / ⑮ *a long-range, computer-guided cruise missile* (コンピュータ誘導長距離巡航ミサイル) / ⑯ *cash-hungry local officials* (現金のない地元の役人達) / ⑰ *cutthroat competition* (生き馬の目を抜くような競争) / ⑱ *behind its wishy-*

washy foreign policy (その優柔不断な外交政策の背後に) / ⑱ *EC-bound Japanese cars* (EC向けの日本車) / ⑳ *her Oscar-winning performance* (オスカーを受賞した彼女の演技)

上の用例のうち、①～⑧までの *italics* が完全に語彙項目として定着している複合形容詞の例である。これらの中で ⑰ *cutthroat* (= ‘murderous; ruthless’—*RHD* 「殺人的な；激烈な」) は、*OED*によると初出年が16世紀(1535年)にまでさかのぼる古い歴史を持った複合語で、‘cut’ と ‘throat’ の2要素間の緊密度が時の経過と共に強まった結果、現在ではほとんどハイフンなしの形で限定用法に限って使われている⁸⁾。

このような ‘Verb+object’ の構造を持ち、16世紀中葉頃から形容詞としての用法を今日まで持続している複合語の例として、*breakneck* (= ‘very fast or dangerous’—*WNCD*⁹ [初出年1562]) と *telltale* (= ‘revealing what is not intended to be known’—*RHD* [初出年1540–50]) を挙げる事が出来る。

次の ⑱ *wishy-washy* は母音交替による複合語で、*willy-nilly* (煮え切らない)、*higgledy-piggledy* (めちゃくちゃな、乱雑な)、*hoity-toity* (気取った、横柄な) などの子音交替による複合語と同様に、*journalese* の中で形容詞的に使用されている例が散見される。

一方、⑱ *EC-bound* と ⑳ *Oscar-winning* の場合は、造語的にはかなり流動的であり、複合語の *-bound* (= ‘Prepared or purposing to go, starting, directing one’s course, destined.—*OED*) や *-winning* を固定軸として、第1要素を変えることによって意味・語形が類似した限定用法の形容語句を自由に生成する働きを有している。例えば最近のメディアから2例ずつ示すと、まず *-bound* については

a *London-bound* airplane [*AEN*, July 23, '93 (p.3)] / *Jupiter-bound* comet photographed [*AEN*, Feb. 9, '94 (p.2)]

のような使用例が見られ、後者は新聞の見出しで、Jupiter（土星）に衝突するコースを進んでいた彗星 Shoemaker-Levy に関する記事。

次に *-winning* については

Walker, the *Pulitzer Prize-winning* novelist [*Newsweek*, Jan. 10, '94 (p.29)] / the man (i.e. Lloyd Webber) who made her the *Tony-winning* star of his 1979 "Evita" on Broadway [*Time*, Feb. 28, '94 (p.35)]

などの用例が挙げられる。

以上、使用例を若干示すことによって、この種の複合語の用法を概略説明した。

4. 3要素以上から成る premodifier

これまで見て来た限定用法としての複合形容詞は、構成上、第1要素と第2要素の二要素から成っていて、多くの場合ハイフンによって連結され、その後ろに置かれている主要語を修飾する構造を持っていた。そのあるものは、'Verb (root / participle) + adverb,' 'Noun + verb (participle),' 'Adverb + verb (participle),' 'Adjective + noun,' またあるものは 'Noun + adjective,' 'Noun + verb (participle),' 'Verb (root) + noun,' のような構造を持っており、その他種々の違った構成による2要素の複合語が中心であった。しかし、これ以外に複合形容詞は3語以上の多様な要素から構成されている場合もある。

最近の英字新聞と雑誌から拾った用例を以下に示すことにする。(各用例の後の括弧内は、出典とイタリック体の部分の意味を示している)

the 15 months of *on-the-job* training [*AEN*, Feb. 23, '93 (p.5) (実地の; 職場での)] / *middle-of-the-road*, market-oriented policies [*Newsweek*, Dec.18, '95 (p.25) (中道の, 中庸の)] / *out-of-court* settlement was reached [*AEN*, May 28, '93 (p.9) (法廷外の, 示談による)] / *down-and-out* Russian smokers [*AEN*, Apr. 13, '93 (p.1) (無一文の, 落ちぶれた)] / *a meat-and-potatoes* player [*Time*, Feb. 17, '92 (p.30) (地に足のついた; 重要

な) / *bait-and-switch* sleaziness [*Time*, May 13, '96 (p.56) (おとり広告販売の)] / *that once-in-a-lifetime* vacation [*Newsweek*, Feb. 12, '96 (p.45) (一生に一度の)] / *in the not-so-distant* future [*Time*, Nov. 9, '92 (p.6) (あまり遠くない)] / *soon-to-be-independent* Slovakia [*Time*, Nov. 9, '92 (p.12) (遠からず独立することになる)] / *tried-and-true* wheeling and dealing [*Time*, Sept. 28, '92 (p.26) (実証済みの)] / *its built-from-scratch* Saturn division [*Time*, Nov. 9, '92 (p.49) (ゼロから築いた)]

このように3語以上から成る複合形容詞は、慣用的表現となって固定化しているものが多数であるが、本来、後置修飾語句として用いられるべきものが、*journalese* の中での表現効果を意図して前置され、より明確に意味を伝達出来る、無駄を省いた簡潔な、ある種のスピード感を生む表現となっている。

H. Sweet は、2語またはそれ以上から成っていて、文法的・論理的に結合したものを語群 (word-group)⁹⁾ と称している。この語群のうち、語句が固定化して慣用的表現になっているものを 'group-compound' (語群合成語) と呼び、一方、語句が固定化せず自由に入れ換えられる弾力的な語群を、'free group' (自由語群) と呼んでいる¹⁰⁾。上に挙げた用例の中で、*not-so-distant* と *soon-to-be-independent* が 'free group' に属する臨時的な形であるが、前者については *not-too-distant* のように *so* が *too* に入れ変えることはあっても、かなり慣用化の方向に進んでいると思われ、'not-so-' 型は『大英和辞典』(研究社)では語彙項目に記載されているほどである。同様に、後者の 'soon-to-be-' 型についても、*independent* が他の語に置き換えられて使われる形態であって、例えば

"The *soon-to-be-rebuilt* Kyoto Station" (写真の caption: 「京都駅一再建間近」) — *Japan Quarterly*, Jan.-Mar., '93, p.81)

... the party's *soon-to-be-opened* Shimane Prefecture branch — (*AEN*,

Jan. 8, '94, p.1)

のように使用された例が見受けられる。なお、『ランダムハウス英和大辞典』(第2版. 1994. 小学館)では 'easy-to-' (…しやすい) 型が連結形として辞書項目に挙げられており, *easy-to-operate* (操作しやすい) という用法を載せている。更に, *ready-to-eat*, *ready-to-finish*, *ready-to-wear* などが項目として並んでいて, *premodifier* を構成する一要素として益々慣用化・固定化への道を進んでいることを例証している。

固定化した語群と自由に入れ変る自由語群とを含む語群複合語が, 実際にもどのように使用されているかを更に吟味するため, 文章単位で以下に示すことにしたい。(各文の後の括弧内に出典とイタリック体の複合語の訳を記す)

- ① The Iraqi's *top-of-the-line* tank, the Soviet 7-72, requires skilled technicians and high-grade spare parts to keep running; Baghdad may not have, either. [*Newsweek*, Oct. 29, '90, p.16 (最新鋭の)]
- ② The prospective candidates are expecting a *rough-and-tumble* race in the assembly election. [*AEN*, Apr. 18, '93, p.1 (入り乱れた)]
- ③ Hank is one of the most *down-to-earth* common-sensical, likable people you would ever meet ... [*Time*, Dec.18, '95, p.37 (現実的な)]
- ④ A rematch against Tyson figures to be of much more interest in the United States and a big *pay-per-view* attraction than a second Bruno-Lewis fight would be. [*AEN*, Oct. 9-10, '95, p.12 (番組有料視聴方式の)]
- ⑤ An outsider would see the irony in a saint occupying the spot once reserved for *larger-than-life* portraits of Marx and Lenin. [*Time*, Dec. 7, '92, p.56 (実物より大きい; 伝説的な)]
- ⑥ New *easy-to-take* medicines that resemble candy and taste like sports drinks are becoming increasingly popular among young people in Japan, [*AEN*, Oct. 3, '95, p. 5 (飲みやすい)]

- ⑦ Late last year the value of all REIT, slid about 7 percent after two new issues sold at *lower-than-expected* prices. [*Newsweek*, Mar. 7, '94, p.33 (予想以下の)]
- ⑧ Behind such a flinty assessment nightmare lies the memory of the Pentagon's *all-too-recent* nightmare in Somalia. [*Newsweek*, Apr. 18, '94, p.21 (ごく最近の)]
- ⑨ A *wonk*, as old salts know, was nautical slang for a *wet-behind-the-ears* cadet. [*AEN*, Aug. 7, '92, p.9 (うぶな, 未熟な)]
- ⑩ There is the Maverick *air-to-ground* antitank missile, for example. [*Newsweek*, Jan. 21, '91, p.19 (空対地の)]

5. 特殊な構成を持つ premodifier

これまで挙げて来た用例の他に、次のようにやや特殊な形式を持つ複合語がある。その1つは、動詞の root (語根) で始まる命令形タイプのものである。例えば

NATO's *pull-back-or-we-bomb* ultimatum to . . . [*Time*, Feb. 21, '94, p. 22 (撤退しなければ爆撃するぞという (最後通告))] / Many blacks are ready for talk of *go-it-alone* self-help. [*Newsweek*, Oct. 30, '95, p.51 (独自の, 自主独立の)]

また次のように、主語と述語動詞を持つ文形式を備えたタイプもある。

Many Republicans . . . insisted on "*I'm all right, Jack*" mood. [*Newsweek*, Nov. 16, '92, p.19 (心配ご無用といった)] / . . . his *Soho-goes-skiing* outfit . . . [*Ibid.*, p.19 (いかにもスキーに出掛けますといった (服装))]

以上、各種の複合形容詞を列挙し、解説を加えて来たが、最後に、諺、聖

書からの引用句、標語に由来するものなどがあるので、各 1 列ずつ用例を示すことにしたい。

... the Israelis could send the Air Force or their Gericho missiles to hit Baghdad civilian areas in an *eye-for-an-eye* retaliation. [*Newsweek*, Jan.28, '91, p.25 (目には目の(報復))] / A total of 300 people will be admitted to the event, which will start at 6 p.m., on a *first-come-first-served* basis. [*AEN*, Feb. 19, '93, p.4 (先着順に)] / Our longing expresses itself in catalogs full of the *back-to-nature* look ... [*Time*, Dec. 28, '92, p.60 (「自然に帰れ」的な)]

最初の用例は、旧約聖書 (*Ex. 21:24*) の 'eye for eye, tooth for tooth, hand for hand, ...' からの引用。2 番目は「早い者勝ち」('First come, first served.') という格言から。そして最後の用例は、'Back to nature' という標語をベースに造られた複合語である。ついでに言うと、これらの複合語を Jespersen は 'Quotation Adjunct' (引用付加詞)¹¹⁾ と称している。

III. 複合形容詞の形成過程

名詞の前に置かれた別の名詞が、限定的に後の名詞を修飾する形容詞的な (adjectival または quasi-adjective) 働きをする場合があるが、頻繁に使われることにより、その名詞は形容詞化する。例えば1993年式 Cadillac Allanté (The 4.6-liter, 32-valve V-8) の紹介記事の冒頭の文は次のような書き出しである。

GM boasts a *budget* high-tech sports car ... —*Newsweek*, May. 4, '92, p. 55.

文中の '*budget*' は名詞が形容詞化したもので、'Designed or suitable for

someone of limited means; cheap.’ [OEDS; 1958年初出] という語義を持ち、「手頃な値段の、安い」という意味で使われている比較的新しい意味用法である。これに類したものは、a *name* author (一流作家), a *key* factor (重要な要因), *quality* goods (高級品), a *designer* tie (有名デザイナーのネーム入りネクタイ) などのイタリック体の名詞が形容詞化している。

次に、‘nominal phrase’ が premodifier として限定的に用いられる場合は、ハイフンを付けて

a *world-class* athlete, *low-cal* food, a *red-carpet* treatment, *civil-rights* movement, a *box-office* hit, a *financial-services* firm, *high-testosterone* young men, a Sega *virtual-reality* video-game arcade

のように表現し、それぞれが形容詞の機能を発揮している。low calory (低カロリー) → *low-cal* (低カロリーの); red carpet (赤じゅうたん) → *red-carpet* (丁重な、盛大な); box office (切符売り場; 売り上げ) → *box-office* (大当りの、ドル箱の) といった具合に複合形容詞化して辞書項目に加えられるようになる。

また、‘verb+adjunct’ 形式の場合も、

‘work to rule’ (順法闘争をする) からハイフンを付けて *work-to-rule* (順法闘争の) という形にして、しばしば premodifier として限定的に用いられる。

1. Syntactic compound と asyntactic compound

複合形容詞は、統語法のルールに基づいた語順で構成要素が配列され、それらの語群が一まとまりになって premodifier としての機能を持つ ‘syntactic compound’ (統語的複合語)¹²⁾ と、統語法のルールに従わない語順で配列された構成要素を持つ ‘asyntactic (または non-syntactic) compound’ (非統語的複合語) とがある。例えば a *vivid up-to-date* sketch of the place/a *good-for-nothing* engineer/*over-the-counter* analgesies/a *last-ditch* liberal conspiracy/a *put-on* smile/a *hard-to-get* products/*in-your-face* politics/the

fed-up viewers 等のイタリック体の部分が前者に当り, *deficit-covering bonds* / *axe-wielding Palestinians* / *snowbound east Bosnian mountains* / *debt-ridden European countries* / *money-tainted politics* / *male-dominated society* / *Murdoch-owned Sunday Times* / *labor-intensive industries* / *techno-savvy crooks* / *Dutch-born VJ Simone Angel* などの用例が後者の ‘asyntactic compound’ に属している。

これをもう少し具体的な例でわかり易く説明すると, 例えば a *ten-year-old schoolboy* における ‘*ten-year-old*’ は, 本来 a schoolboy who is ten years old という統語的配列に従って表現された基底構造に由来し, ‘ten years old’ という syntactic phrase の語順を変えずに, 通例, 複数語尾の s を省き, ハイフン付きの限定付加詞として主要語 (schoolboy) の前に移動して複合形容詞化した語形式の一例である。これに対して, *HIV-tainted blood products* の場合は, 統語論的ルールに基づいて形成されたものではなく, blood products which were tainted by HIV という基底構造に由来し, そこから transformational rule を援用して¹³⁾, 前置詞 by の目的語である HIV を past participle の tainted の前に移してハイフンでつなぎ, which were を変形過程で削除してハイフン付きの限定付加詞を blood products の前に置いて出来上がったものである。*deficit-covering* や *axe-wielding* のように ‘ing’ 形の前にある名詞がその動詞の目的語になっている ‘Verb+object’ に由来する複合語, あるいは, the sales-hungry author の場合のように the author who is hungry for sales という基底構造から生成された ‘Noun+adjective’ 型の複合語も, 類似の変形プロセスを経て形成されたと見るべきであろう。

2. 複合形容詞化へのプロセス

数詞を含む syntactic phrase も, 大体上述したようなプロセスを経て, syntactic compound になったと見てよい。例えば

- (1) Sharp’s selling a 8.6-inch-diameter LCD color TV for \$3,600.
[Newsweek, Aug. 5, ’91, p.54]

- (2) He's an *8-foot-high, 43-foot-long* creature ... [*Newsweek*, May. 20, '96, p.45]
- (3) ... the break-off of a *77-by-37-km* iceberg now floating ... [*Time*, Mar. 13, '95, p.17]
- (4) She holds a slim *0.02-of-a second* lead over Germany's Miriam Vogt ... [*AEN*, Feb. 5, '93, p.12]
- (5) ... the *scandal-a-day* status quo. [*AEN*, Apr. 18, '93, p.1]
- (6) ... the Mirage has a *\$500-a-pull* slot machine salon. [*Time*, Jan. 10, '94, p.37]
- (7) The *500-sq-m* residential area ... [*Time*, May 16, '94, p.10]
- (8) *\$1,750-a-month* salary offered by the grateful Swiss. [*Time*, May 9, '94, p.31]

次に a girl *with dark hair* や a wooden house *with a steep roof* は、それぞれ *italics* を 'Adjective+noun+*-ed*' 型に変形して、a *dark-haired girl*, a *steep-roofed* wooden house のような premodifier に。'phrasal verb' からは a *get-together* meeting (親睦会), a *takeout* restaurant, a *see-thru* blouse (= 'transparent') のような複合語が premodifier として使われている。また four wheel (四輪) にハイフンを付けると *four-wheel* (または *four-wheeled* = 'having four wheels') という形容詞形になって *four-wheel drive* (四輪駆動) のような形で用いられ、更に a *four-wheel-drive* utility vehicle (4WDの实用車) のような形に発展する。

以下に、複合形容詞(イタリック体)を列挙し、それらがおのおのどんな基底構造から生成されたかと推定されるか、複合語の後に付記することにする。

- (9) a *less-than-cordial* welcome < a welcome which is less than cordial
- (10) a new *easy-to-wear* variety < a new variety which is easy to wear

- (11) *her soon-to-be-released* movie < her movie which is soon to be released
 - (12) ¹⁴⁾ *an input-output device* < a device for both input and output
 - (13) *a profit-loss* statement < a statement of profit and loss
 - (14) arrested on a *trumped-up* charge < arrested on charges that had been trumped up
 - (15) *spur-of-the-moment* decisions < decisions made on the spur of the moment
 - (16) yet another *army-backed* coup < yet another coup which is backed by the army
 - (17) a sprawling *moat-surrounded* complex < a sprawling complex which is surrounded by moats
 - (18) a major progress against *AIDS-related* pneumonias < a major progress against pneumonias which are related to AIDS
 - (19) the *French-made* drug RU 486 < the drug RU 486 which was made in France
 - (20) many *war-weary* Somalis < many Somalis who are weary of the war
 - (21) *sports-crazy* Japan < Japan which is crazy about sports
- 以上、複合形容詞化へのプロセスについて概要を説明した。

IV. Journalese に見る Premodification の傾向

英米の最近の新聞・雑誌に目を通すと、その紙面には比較的新しい造語に属する各種の複合語、例えば *bailout*, *blissout*, *gundown*, *hangout*, *layoff*, *pullout*, *shutdown*, *spin-off*, *standoff*¹⁵⁾ のような複合名詞だけでなく、多種多様な複合形容詞が豊富に、躍動的と思えるほどに——しばしば効果的に、時には陳腐に——使われている事実を認めることが出来る。近年、特にアメリカ系のジャーナリズムにこの傾向が強い。

1. 雑誌・新聞の記事から

2種以上の要素をハイフンで連結した ‘hyphenated compound,’ あるいはハイフンなしで1語に綴られた ‘solid compound’ を名詞の前に置いて限定形容詞的に用いた premodification (前位修飾) の顕著な傾向を、まず雑誌と新聞から採った10種の引用文によって例証し、この言語的趨勢の特徴を指摘したいと思う。出典はアメリカ系の雑誌 *Newsweek*, *Forbes*, *Time* の3種 [用例(1)～(6)], 新聞は *The Japan Times* と *Asahi Evening News* の2種 [用例(7)～(10)] である。

- (1) Japan’s 4.4 trillion yen (\$ 31.9 billion) defense budget for 1991 provides Japan’s Self-Defense Forces (SDF) with ① top-of-the-line ② U.S.-made hardware ranging from ③ high-tech tanks to ④ multiple-launch rocket systems, HAWK ⑤ surface-to-air missiles and sophisticated antisubmarine patrol planes. [*Newsweek*, Aug. 5, '91, p.23]

(注) ① = ‘of or being the best or most advanced of a line of products’—*3rd Barnhart*. ② = ‘made in the U.S.’ ③ 「高度技術の」 ④ 「複式ミサイル発射の」 ⑤ 「地对空の」

- (2) Hollywood is planning a ⑥ big-budget movie show that infuriated her ⑦ diehard fans. [*Newsweek*, Sept. 25, '95, p.40]

(注) ⑥ 「高予算の」 ⑦ = ‘strongly resisting change : completely and determinedly fixed’—*WINCD*⁹.

- (3) Many blacks are ready for talk of ⑧ go-it-alone self-help. [*Newsweek*, Oct. 30, '95, p.51]

(注) ⑧ 「自主独立の」 Cf. ‘go it alone’ = ‘to act or proceed independently, without assistance, companionship, or the like’—*RHD*.

- (4) IBM could even consider giving Notes away. It might turn out to be the ⑨ *all-time* best loss leader the computer industry ever had. Lotus by itself couldn't sell Notes rapidly enough because it had its own crippling Microsoft problem : Its ⑩ *bread-and-butter* business of ⑪ *desktop* applications was gobbled up by Gates. [*Forbes*, July. 10, '95, p.87]

(注) ⑨ = 'being for or of all time up to and including the present ; esp:exceeding all others of all time' — *MWCD*¹⁰. 「空前の, 前代未聞の」

⑩ 「(生活基盤にかかわる) 主要な, 基本的な」

⑪ = 'of a size that can be conveniently used on a desk or table' — *12,000 Words*.

- (5) Key to Carburetor Valley's success are companies like Xtrac Ltd., whose 90 employees turn out ⑫ *high-precision* gears and drive shafts for the transmissions of the most illustrious names in auto racing. Xtrac, for example, builds the ⑬ *six-speed* gearbox for Toyota's ⑭ *390-horse-power* rally cars. Starting with five people working in a loft above a Chinese ⑮ *take-out* restaurant in 1968, Xtrac now has headquarters in a modern ⑯ *1,900-sq-m* factory full of millions of dollars with ⑰ *computer-aided* machine tools that manufacture gears so highly polished that they feel like glass to the touch. [*Time*, Jan. 11, '93, p.43]

(注) ⑫ 「高精度の」 ⑬ 「6速(可変)の」 ⑭ 「390馬力の」 ⑮ 「持ち帰り用(料理専門)の」 ⑯ 「1,900平米の」 ⑰ 「コンピュータ援用の (=computer-assisted)」

- (6) The Viper, a politically incorrect, ⑱ *10-cylinder* roadster (\$50,000), is the most ⑲ *sought-after* sports car in the U.S. in years. [*Time*, Nov. 9, '92, p.50]

(注) ⑱ 「10気筒の」 ⑲ = 'that is in demand; desirable'—
—RHD.

(7) In addition, ⑳ *on-the-spot* investigations could be conducted with the consent of the religious organizations involved. [*The Japan Times*, Oct. 26, '95, p.20]

(注) ⑳ 「現地での、現場の」

(8) This indicates that in an ㉑ *ever-increasing* ㉒ *female-rights* and ㉓ *privilege-conscious* world, the women of Thailand are actively participating. [*The Japan Times*, Oct. 31, '95, B 6]

(注) ㉑ 「どこまでも増大する」 ㉒ 「女性の権利 (保護) の」 ㉓ 「特権を意識する」

(9) As ㉔ *recession-hit* Japanese companies are struggling to streamline their operations, ㉕ *middle-aged* ㉖ *white-collar* workers finally have become the target of their ㉗ *cost cutting* programs. [*AEN*, Dec. 16, '93, p. 5]

(注) ㉔ = 'hit by a recession' 「不景気に見舞われた」 ㉕ 「中年の」 ㉖ 「ホワイトカラーの」 ㉗ 「経費削減の」

(10) The stars were cradled in EGGs, a ㉘ *too-good-to-believe* acronym for evaporating gaseous globules. [*AEN*, Nov. 4, '95, p.2]

(注) ㉘ 「信じられないほど上出来の」

英字新聞と雑誌の記事から採った10種類の引用文からも容易にうかがえるように、現代英語ジャーナリズムでは *premodification* という言語的傾向は極めて強く、*hyphenated compound* の形で次々に登場し、そのうちのいくつかは新語として *lexical item* の一つに加えられ、またある種の語群は臨時的に使用された後、定着せずに生命を終える。

上の使用例から見てもわかるように、多くの場合複合形の使用は、口語的な趣き、あるいは記述的な色彩を帯びた簡潔な表現¹⁶⁾ となり、例えばホッ

トニュースを限られた紙面のスペースに対する経済性を計りながら、簡潔・明快に報道する新聞や雑誌の記事において効果的なスタイルとなるばかりでなく、コンピュータ・サイエンスのような技術専門分野の英語においても多用されるのである¹⁷⁾。

複合語による語形成は、文法構造を多様化するなど言語的柔軟性を広げる働きがあるために、特に商品を宣伝する広告文の担い手であるコピーライターの常套手段とも言える。目を引くような、奇抜な人工的表現にも生かされることとなる¹⁸⁾。このような複合語を多用する米国のジャーナリズムの文体は、当然のことながらイギリス英語の語彙・シンタックス面にも影響を及ぼしている。

新製品の広告文には、まさに ‘eye-popping’ な奇抜な言い回しが溢れている。本稿では広告文に言及する余白がないので、製品の紹介記事を 1 つだけ次に示す。*Time* に載った ‘\$5 billion home-video-game business’ の解説記事で、Sony’s PlayStation が Sega’s Saturn と 3 DO’s Interactive Multiplayer の 2 つのライバルを販売競争で凌駕している事実に触れた後の英文は次のようになっている。

These are the so-called next-generation game machines: low-slung schoolbook-size TV-set-top boxes that play compact discs (rather than plug-in game cartridges). They also process data 32 bits at a time (twice as fast as the 16-bit processors at the heart of the aging Sega Genesis and Nintendo Super NES machines). [*Time*, Nov. 13, '95, p.12]

参考のため、7箇所の下線を施したが、すべて premodifier としての機能を持っている。必ずしも慣用的に確立した句ばかりではないが、辞書の lexical item になっているものも含まれている。

次に Microsoft’s minimum requirements for Windows 95 として挙げられている備品・装置の簡単な説明文を一瞥することにする

PRINTER : Go for a color, inkjet printer, with 300-to-600-dots-per-square-inch resolution.

MONITOR : A 15-inch Super VGA, with 1,024-by-768 resolution and .28-dot pitch, is bigger and only moderately more expensive than the standard 14-inch screen.

上の他に Random-access memory, on-line services, on-site repair, a Pentium-based machine, hard-disc storage, a no-question-asked Plug and Play machine などの表現が同頁に見受けられる。[以上, *Newsweek*, Aug. 21, '95, p.31]

2. 英訳文から

『朝日新聞』の社説の英訳文は, *Asahi Evening News* に毎回掲載される。また「窓欄 (論説委員室から)」も時々英訳が解説付きで紙面を飾る。後者は, Charles M. De Wolf 氏が英訳を担当している。

まず, 社説の英訳を2例 (一部のみ) 紹介する。

- A. 「カーター大統領らの土壇場の折衝の結果, 米国主導による他国籍軍のハイチへの軍事介入は避けられ・・・」 [1994年9月20日(火)の社説]

As a result of last-ditch negotiations by former U.S. President Jimmy Carter and others with the Haitian brass hats, the military intervention by U.S.-led multilateral forces into Haiti was avoided and ... [AEN, Sept. 20, '94, p.8]

カーター氏による説得努力の結果, 1991年のクーデターで実験を握ったセドラ司令官に軍部指導者 (military leaders ; 英訳では 'brass hats' となっている) が退陣し, 追放中のアリストイド大統領が復帰した。合意の立役者と

なったジョージア州出身のカーター氏（‘the Georgian with the toothy grin and honeysuckle accent’—— *Ibid.*, p.1）は、平和実現のために、世界を股にかけて活躍する紛争の調停者という名声を得たとされる。

文中の複合形容詞 ‘*last-ditch*’ は、昔の塹壕戦で最後に残った塹壕 (ditch) の意味から派生し、ハイフンを付けて「最後の、死力を尽くした」の意味を持つ複合形容詞で、初出年は1937 [WNCD⁹] とされる。最近見かけるようになった同義語として、新語の ‘*last-gasp*’ を挙げることが出来る。例えば、新聞の見出しの中に次のような使用例がある。

LDP MAKES LAST-GASP

BID TO RETAIN POWER [AEN, July. 27, '93, p.1]

1955年の保守合同以来、始めて政権の座から降りた自民が、今度は非自民連立内閣を失脚させて復権を計ろうと「土壇場の（せっぱつまった最後の）努力」(*last-gasp bid*) をしていることを伝える記事。このように journalism では、*last-ditch* と *last-gasp* は多用される傾向にある。

次に、‘*U.S.-led*’ (米国主導の) という ‘Noun + past participle’ 型も最近の時事英語では、-dominated (一に支配された)、-based (一に本社を置く；-を基にした)、-driven (一に追い詰められた、一に取りつかれた) などの past participle を構成要素の一つにする複合形容詞と同様に多用される型である。

- B. 「長いあいだ続いてきた輸出依存の経済を内需中心にかえていくという経済の「革命」を、こんどこそやりとげなければならない。何年もかかるだろう。」 [1993年8月23日(月)の社説]

We must carry out an economic revolution to change the export-dependent economic system to a domestic demand-oriented one. It will probably take years. [AEN, Aug. 29, '93, p.3]

上の英文中にある ‘*export-dependent*’ economy は、economy dependent on export という基底構造から語順を変えて生成された *asyntactic compound* の 1 種。このような ‘Noun+adjective’ 型も最近目立って多く見られるようになったタイプと言える。-oriented 型も、people-oriented (人間中心の、人間優先の) のように用いられる頻度の高い非統語的複合型の一つである。次に掲げるのは「窓」欄の英訳例。

- C. 「不況風と一緒に、また悪徳商法がまんえんし始めた。バブルの時代にふくらんだ拝金主義、一発主義の気分が、被害に拍車をかけているようだ。

いわゆるマルチ商法は、商品を販売するよりも、会員を増やすことの方が利益が大きい仕組みで、「人狩り商法」だ。」[1993年5月11日「窓」欄]

Along with the recession has come another wave of shady business operators. Booming-economy mammonism and the get-rich-quick mentality it spawned seem to have guaranteed them plenty of easy marks.

The money-making strategy in pyramid-selling lies not so much in purchases as in the recruitment of new members. It is a people-hunting scam. [AEN, May 23, '93, p.7]

「バブル(経済の)崩壊」は、英字新聞などでは ‘the collapse of the asset-inflated economy’ のように表現されている。‘*booming-economy*’ は「景気づいて来た経済の」、‘*get-rich-quick*’ は「手早くもうかる、一かく千金的な」という意味を表すよく使われる語群複合語。‘*money-making*’ (金もうけの)、‘*people-hunting*’ (人狩りの) はどちらも ‘Noun+participle (-ing)’ 型の複合語で、nounがverbの目的語になっている頻度の高い非統語的複合型。これを次の1980年代中葉に公表されたミルクの広告文と比べて見ると、今まで引

用した英文の中に頻出していた複合語の代表的な型が共通していることがわかるであろう。

Body-makin', body-buildin', body-conscious, body language,
Anybody, everybody needs bottle.¹⁹⁾

1974年の画期的な Pepsi Cola の宣伝文 (Lipsmackin' thirst quenchin' ace tastin' motivatin' good buzzin' cool talkin' high walkin' ...) を雛型として、以後様々な広告文に模倣されて登場する複合形容詞の中に、lipsmackin', body-makin', body-conscious 型があるが、これまで考察して来た各種の最近の記事から採った文章にも明白に示されている通り、これらのタイプの他に fresh-tasting, quick-acting, pop-up, breakaway, top-notch, king-size, low-key のタイプや、over-fresh, red-hot, in-depth, online, up-to-the-minute のようなタイプ、更に open-ended, two-tiered, country-bred, servo-assisted 型や well-heeled, long-sought, stepped-up, bombed-out 型などを始めとして、その他様々な型に属する複合形容詞が、ジャーナリズムばかりでなく技術英語や広告の分野においても多用されている事実を十分に理解出来ると思う。

複合形容詞は、premodification により、語彙の使用を出来るだけ節約し (space-saving)、短的にストレートに意味を伝達する手法として有効であり、意味内容は時により透明さや明瞭さを欠く恐れはあるにせよ、絶えず変化する社会の要請を満たし、斬新な表現を創造しようとする欲求から生まれるのである。

V. Adjective Compound の分類

複合語を分類する際に、その下位区分まで含めて網羅的に型を分類することは極めて困難であり、特に noun compound については区分の数も多く、Valerie Adams がその著書²⁰⁾において試みているのを見てもわかるように、大別して11種、これに下位区分と particle を含む名詞句を入れれば合計70以

上の区分になり、品詞、意味、統語的機能等のどれに重点を置くかによっても異なるが、中には約100のタイプに分類している学者もいる程である²¹⁾。

ここでは、微に入り過ぎる程の区分は避け、**noun compound** との関連も考慮しながら複合語の構成要素に着目して、各要素の品詞・形態・機能をチェックし、基底構造を把握し、統語法のルールに準拠しているか否かの判断を加えて、以下の分類にまとめた。ただし、最初の分類項目（A, B, C）の3種の型（タイプ）については、紙幅が不足のため詳述出来ないので、稿を改めて考察することとし、本稿ではこれ以後、言及を控えたい。

- [I] A. Noun+adjective
- B. Noun/adjective+verb(-ed)
- C. Group-compound
- [II] 1. Noun+verb(-ing)
- 2. Adverb/adjective+verb(-ing)
- 3. Adverb/adjective+verb(-ed)
- 4. Adverb/adjective+verb(root)
- 5. Verb (root)+noun
- 6. Verb (root)+adverb/preposition
- 7. Verb(-ed)+adverb/preposition
- 8. Verb (root)+verb (root)
- 9. Adjective/noun+noun
- 10. Adjective+adjective
- 11. Adjective/noun+noun+ed(suf.)
- 12. Adjective/adverb+to-infinitive
- 13. No+verb/noun
- 14. Particle+noun
- 15. Noun+particle
- 16. Quotation adjunct

17. Rhyme- / ablaut - motivated compound

18. その他

(注) verb(-ing) = present participle

verb(-ed) = past participle

suf. = suffix

VI. 分類項目別用例

出典は用例の後の括弧内に示す。その際, *Newsweek* [NW], *Time* [TM], *Asahi Evening News* [AEN] はそれぞれ [] 内の略字を用いた。

Type 1: 'Noun+verb(-ing)'

Ex. *fact-finding*, *decision-making*, *fund-raising*, *hair-splitting*, *mind-boggling*, *cancer-causing*, *spine-chilling* 等, 多産型。

(1) 第2要素が vt., — noun が verb の目的語となる asyntactic compound で多産型。 *hair-splitting*, *mind-blowing*, *eye-catching* はそれぞれ 'split hairs,' 'blow one's mind,' 'catch a person's eye' のような慣用的表現がベースになっている。長い年月に確立した形も多いが, ここでは新造語を中心に新しい用例を挙げる。

Bernstein, the *globe-trotting* maestro [NW, Oct. 29, '90, p.59 (世界各国を旅行する)] / *Scud-busting* Patriot missile gunners [NW, Feb. 18, '91, p.15 (スカッドミサイルを破壊する)] / she had trouble landing her *radar-jamming* jet [TM, Apr. 17, '95, p.37 (レーダー妨害 (ジェット機))] / an entire winter of *record-shattering* cold [TM, Jan. 31, '94, p.25 (空前の)] / in one— *stunning*, *ear-drum-puncturing*, *ground-rumbling* run [NW, Feb. 18, '91, p.11 (鼓膜が破れるほど, 地面に轟音を鳴り響かせる)] / such *cancer-causing* pollutants as benzene and toluene in the water [TM, Jan. 31, '94, p.8 (癌の原因となる)] / it (i.e. Detroit) was

more of a monument to the oily, *smoke-belching*, *spark-flying* spirit of American competition [AEN, Mar. 18, '94, p.1 (煙を吐き出し, 火花を散らす)] /“GRETZKY SLUMP” is a more *eye-catching* banner [AEN, Feb. 19, '93, p.12 (人目を引く)] /the organization reflects the *decision-making* style [AEN, May 28, '93, p.2 (意思決定の)] /Germans have been captivated by a *headline-grabbing* tale [AEN, Aug. 16, '93, p.1 (重大ニュースとなる)] /streams of *camera-clicking* on-lookers [TM, Oct. 2, '95, p.40 (カメラをパチパチやっている)] /it was blown to pieces by *bomb-throwing* mobs [AEN, Feb. 9, '93, p.1 (爆弾を投げつける)] /I have often witnessed the most *stomach-turning* obsequiousness from people [AEN, Dec. 5, '95, p.6 (むかつかせる, 不快な)] /the *tongue-tying* name dexflenfluramine [NW, Feb. 7, '94, p.42 (舌をもつれさせるような)] /an *Elvis-impersonating* Frenchman [TM, Feb. 17, '92, p.34 (プレスリーの物真似をする)] /Dr. Jack Kevorkian, the controversial *suicide-assisting* campaigner [AEN, Dec. 27, '93, p.2 (自殺幫助の)] /the president's "*mind-boggling* suit" and "expensive socks." [NW, Jan. 24, '94, p.9 (度肝を抜くような)] /Britain's prolific, *money-spinning* composer [TM, Nov. 25, '91, p.40 (金もうけのうまい)] /the extremist, *hate-mongering* Rabi Meir Kahane [TM, Mar. 7, '94, p.20 (火つけ役の)] /Most of the *hell-raising* pieces in Byron Lars' young collection are around \$300. [TM, Apr. 25, '94, p.46 (騒ぎを引き起こしている)]

(2) 第2要素が vi.—第1要素は前置詞句 (adverbial)。例えば an *ocean-going* vessel は 'a vessel which goes on the oceans' から生じ, the *theater-going* public は 'the public who go to the theater(s)' が基底構造となっている。

... other *bottom-dwelling* marine-life [NW, Feb. 4, '91, p.24 (海底で生活する)] /even quiet, *law-abiding* citizens are becoming more vigilant [ANE, Dec. 18, '93, p.1 (法を守る)]

Type 2: 'Adverb/adjective+verb(-ing)'

Ex. *long-running, high-ranking, fastest-growing, late-blooming, hard-hitting*
例えば *clear-cutting, low-lying, free-spending, swift-rising* の場合のように、第 1 要素が adjective の形と変りないが、機能的には adverb と見てよい。*big-yielding* (収獲の多い) や *top-ranking* (最高位の) の *big* や *top* も同様である。

a *well-meaning* but overwrought movie about the Holocaust [NW, Mar. 27, '95, p.58 (善意から生まれた)] / this *smooth-talking, well-connected* ornament of the establishment [NW, Sept. 25, '95, p.15 (口の達者な)] / they found *lower-paying* jobs in subsidiaries and affiliates [NW, Jan. 10, '94, p.8 (一層給料の低い)] / Today the Opel Kadett is the *second best-selling* car in Germany [NW, Oct. 22, '90, p.46 (2 番目に売れ行きのよい)] / a cylinder of *down-flowing* air that may be the equivalent of a hurricane's eye was spotted by researchers [TM, May 20, '96, p.69 (下方に流れる)] / Arrests of *high-ranking* intelligence agency officials for a variety of offenses [AEN, Aug. 3, '93, p.2 (高位の)] / Japan's *long-suffering* urban consumers [NW, Apr. 18, '94, p.9 (辛抱強い)] / *Left-leaning* politicians were contemptuous of her loss. [AEN, Dec. 4, '92, p.8 (左寄りの)] / once there were *inward-looking* agriculturally based economies [NW, Aug. 5, '91, p.16 (自国に目を向けた)]

他に *forward-looking, outward-reaching, heavy-breathing, hard-hitting, ever-rising, clear-cutting* などがあり、また the Khmer Rouge has condemned the *upcoming* elections [AEN, Apr. 8, '93, p.1 (来るべき)] の例もある。第 1 要素が adjective の場合には、*-looking, -sounding, -tasting, -smelling* などと連結する。

the *sexy-looking* stranger [AEN, Nov. 2, '95, p.12] / A *serious-looking* Harding continued to train [AEN, Feb. 2, '94, p.1] / the president said in an *apocalyptic-sounding* statement [NW, Oct. 15, '90, p.43 (予言的響きを

持った) / even the most *lucrative-sounding* agreements [NW, Aug. 21, '95, p.26 (有利に思える)] / it's the biggest-yielding, the *blandest-tasting* potatoes [AEN, May 2, '93, p.4 (最も風味の乏しい)]

Type 3 : 'Adverb/adjective+verb(-ed)'

Ex. *long-awaited, high-flown, hard-bitten, full-fledged, far-flung, much-ballyhooed, plain-spoken, well-heeled, newly-developed* 等。

*new-born, close-knit, well-dressed*などの語では通例ハイフンを付ける。-lyで終る adverb の場合は a *widely-read feature* のようにハイフンを付けることもあるが、普通は *publicly supported universities* のように付けないのが原則である²²⁾。

第1要素には long, short, high, low, full, hard, fast, far, well, ill, much, little, plain, soft, close, clear, tight, new (ly) の他に already, half, over, just, rarely, oft や -ly で終る adverb が使われている。

To Air Force brass, war with Iraq is a *long-sought* opportunity [NW, Jan. 21, '91, p.22 (待ち設けた)] / according to *well-placed* U.S. officials [NW, Jan. 28, '91, p.37 (信頼出来る)] / Apple's *long-battered* stock took another 9 percent slide [NW, Oct. 22, '90, p.46 (長い間ガタガタになっていた)] / a *full-fledged* 34-member security alliance [NW, Nov. 26, '90, p.21 (十分に訓練を積んだ)] / an *often-robbed* jewelry shop [AEN, Mar. 15, '94, p.3 (何度も泥棒の被害に会った)] / Or take a look at the *much-ballyhooed* savings shortage. [NW, Apr. 24, '95, p.35 (派手に宣伝された)] / he has since developed *full-blown* AIDS [NW, Mar. 6, '95, p.34 (末期の, 完全な)] / The transaction . . . contains a *little-noticed* provision designed to save Seagram . . . [NW, Apr. 17, '95, p.38 (ほとんど注目されない)] / Dini's *close-won* victory last week [NW, Mar. 27, '95, p.37 (僅差で勝ち取った)] / I have *deep-seated* emotions. [NW, Apr. 17, '95, p.45 (根深い)] / a *newfound* escape route from a lifetime rural toil

[*NW*, Aug. 21, '95, p.19 (新発見の)] / the *well-heeled* Japanese businessmen who are delicately picking their way [*NW*, Oct. 22, '90, p.47 (裕福な)]

この他第2要素がvi.の場合は Dan Kerrigan, a *plain-spoken*, loving father [*NW*, Jan. 17, '94, p.44 (率直な話し方をする)] / those *long-lived* CFCs [*TM*, Feb. 17, '92, p.46 (長く持続する)] / the *newly-arrived* cygnet will be kept inside a pen [*AEN*, Feb. 19, '93, p.4 (最近到着した)] などの用例があり, -lyを用いた例としては

artists, foreigners and *scantily-clad* models also take part [*AEN*, Feb. 23, '93, p.2 (僅かに衣服をまとった)] / the shrine runs a *reasonably-priced* hotel [*AEN*, May 20, '93, p.13 (料金が手頃な)] / one of Europe's most *vertically enhanced* royal clans [*NW*, Mar. 20, '95, p.35 (= 'too tall')²³]

などの用例がある。*full-fledged*や*full-blown*を*fully-fledged*, *fully-blown*と綴るのは British English²⁴。以上の他 *just-concluded*, *over-wrought*, *newfangled*, *ready-cut*, *worst-run*, *longheld*, *forward-based*, *highest-paid*, *top-ranked*, *twice-married*, *all-but-vanished* などの用例が挙げられる。

Type 4: 'Adverb/adjective+verb (root)'

このタイプに属する複合語は*high-rise*, *low-rise*, *quick-freeze*, *quick-draw*などで、極く少数に限られる。Adams (1973) もこの型には言及していない。Bauer (1991) は、第1要素は形は adjective だが語義的には adverb として機能していると述べている²⁵。*high-rise* は adjective として1953年、noun としては1963年が初出年—3rd *Barnhart*。

foreign real-estate developers . . . who have plans to build more than a dozen *high-rise* office towers and hotels [*NW*, May 9, '94, p.22 (高層の)] / *High-rise* buildings tower above a beach at Surfer's Paradise on Australia's Gold Coast. [*AEN*, Sept. 6, '95, p.7 (写真のcaption)] / *High-rise* gleam, *low-rise* blight in Shenzhen [*NW*, May 9, '94, p.23] / Bret

Maverick is back, still a *quick-draw* coward [NW, June 13, '94, p.52 (早撃ちの)]. なお*rapid-fire* の他, *quick-fire, quick-fix, quick-change, quick-cut* もこのタイプに属している考えられる。

Type 5: 'Verb (root)+noun'

Ex. *breakneck, lackluster, cutthroat, tell-all* 等。(第2要素が³ verb の目的語)

When the so-called acid jazz boom first fused the British club-scene with funky soul, rap and R & B under its *catch-all* moniker in the late 1980s, . . . [AEN, May 13, '93, p.10 (多様な対応が可能な)] / It's hard to find a national consensus on confidentiality in a nation of *tell-all* memoirs [TM, Nov. 11, '91, p.32 (真実暴露の)] / British Prime Minister John Major, often portrayed as a *lackluster* public speaker, [AEN, Sept. 24, '94, p.3 (活気のない, 生彩に欠ける)] / "It's a *stop-gap* measure," concedes executive director James Copple, . . . [TM, Feb. 21, '94, p.19 (当座しのぎの)] / nothing gets a network newsman's juices flowing like a good hurricane, with . . . the opportunity for *dare-devil* theatrics [TM, May 20, '96, p.70 (向こう見ずの, 命知らずの)] / All is far from comic in the *cutthroat* world of manga as pubescent Japanese boys outgrow a cultural icon. [AEN, Apr. 17, '96, p.5 (殺人的な, 無慈悲な, 激烈な)] / The *telltale* clue may be a drop of blood preserved on wood removed from the Shepards' basement floor. [NW, Feb. 12, '96, p.27 (すべてを暴露する, 隠しおおせぬ)] / a *breakneck* pace for modernization [NW, Apr. 24, '95, p.14 (= 'very fast or dangerous'—LDCE)]

以上いくつか用例を示したが, このタイプは *breakneck* (1562) や *lackluster* (1600) のように古くから用いられていて, 16世紀の *cutthroat, telltale*, それに19世紀に使われていた *kill-joy* などと同様, その数はごく限られている。

Type 6: 'Verb (root)+adverb/preposition'

Ex. *bail-out*, *live-in*, *standout*, *drive-by*, *stand-up*, *breakaway*, *gross-out* 等。

元来、このタイプに属する複合語は 'phrasal verb' に由来するものがほとんどである。verbとしての機能が、複合語となってnounあるいはadjectiveの機能を持つに至ったものであり、その数は多い。

She . . . orders him to use a *carry-on* bag instead of a suitcase to carry the cash. [NW, Mar. 7, '94, p.9 (機内に持ち込める)] / On TV, the prime-time success of . . . the cult appeal of Nickelodeon's *gross-out*, only slightly homoerotic *Ren & Stimpy* is . . . [TM, Nov. 9, '92, p.65 (= '(U.S. Slang) Disgusting; wild or orgiastic'—3rd Barnhart)] / there were several *standout* performers [AEN, Apr. 18, '93, p.8 (異彩を放つ)] / Apple Computer Inc., Sony Corp., . . . have joined as equity partners in the *start-up* firm General Magic [AEN, Feb. 9, '93, p.7 (新規事業開始の)] / an agreement that gives the *breakaway* republic greater autonomy in economic affairs and foreign relations [TM, Dec. 18, '95, p.14 (分離した, 脱退した)] / The genre has spawned one *break-out* hit [TM, Oct. 19, '92, p.54 (思いがけない成功をもたらす)] / you needn't and shouldn't pay pre-recession *ripoff* prices for wine [AEN, Aug. 1, '93, p.7 (不当に高い)] / (Carl) Lewis . . . finished fourth in 10.07 before a *sellout* crowd of 22,000 at Letzigrund stadium. [AEN, Aug. 5, '93, p.16 (大入りの, 満員の)] / In spite of a \$50 billion Washington-sponsored *bail-out* plan, the peso fell and fell, . . . [TM, Mar. 20, '95, p.28 (緊急対策の)] / . . . by permitting 72 communist officials to buy cars, apartments or villas at near *giveaway* prices. [AEN, Sept. 5, '92, p.1 (捨て売りの, 投げ売りの)] / Japanese *stand-up* comedian . . . will bring her irreverent humor to English-speaking audiences . . . [AEN, Aug. 5, '93, p.11 (舞台上で独演する)] / Though *drive-by* shootings continue, there is evidence that the crack problem is waning . . . [TM, Nov. 18, '91, p.29 (走行中の車から

の)] / an al fresco *sit-down* dinner for 12,000 of Mahathir's closest supporters. [NW, Apr. 24, '95, p.10 (席を並べての)] / saucy nurses' uniforms and *see-through* Velcro-tab skirts... [NW, Apr. 15, '96, p.45 (透けて見える)] / ... a square-jawed superhero with laser beams and *pop-out* wings. [NW, Nov. 6, '95, p.48 (ポンと飛び出す)] / it is very hard to find Americans who want to do *live-in* child-care [AEN, Feb. 13, '93, p.8 (住み込みの)] / His "*pull-up*" model, a sleek barrel-shaped chair... [NW, Jan. 21, '91, p.47 (引き上げ式の)。類例: a *pull-on* sweater] / ... a third sibling, hiding in a *walk-in* refrigerator, had witnessed the murders [TM, Mar. 20, '95, p.44 (立って入れる大きさの)] / ... transforming the plane into a "*stand off*" bomber that could fire from a distance as well as drop bombs. [NW, Feb. 18, '91, p.26 ((軍事用語)スタンドオフ型の; *standoff*とも綴る)] / ... the ready availability of cheap *look-alike* drugs [NW, Nov. 5, '90, p.23 (そっくりな)]

この他、軍事用語として*look-down*(=*down-looking*) (下方に電波を送信する)。*drive-up* (乗りつけ式の)、*warm-up* pitches (投球練習)、an *opt-out* option (手を引くという選択)、*stand-alone* word processors (独立型ワープロ) などの用例がある。*go-ahead*, *call-in*, *jump-off*, *die-hard*, *takeaway*, *getaway*, *push-in*, *pick-up*, *pin-up*, *turn-over*; *work-at-home* 等の用例がある。

Type 7: 'Verb(-ed)+adverb/preposition'

Ex. *pumped-up*, *leftover*, *stepped-up*, *reigned-in*, *bombed-out*, *sought-after* 等。

この型も 'phrasal verb' の受動形が noun の前に限定的に置かれて生まれたものが多い。

The makers have a *scaled-down* version for home use that is priced at about \$250. [NW, Apr. 15, '96, p.3 (小型化した)] / Because of the future it might hold: that Dream-Works will be the prototype *plugged-in* multimedia company of the new millennium. [TM, Mar. 27, '95, p.40 (電

気通信によって結ばれた)] /Buyers are lining up for the vacated but often *rundown* castles of the former East Germany [TM, Mar. 20, '95, p.46 (荒れ果てた)] /Now on trial for what his backers say are *trumped-up* charges — allegedly conspiring in the murder of four rival Ogonis [TM, Apr. 24, '95, p.53 (でっち上げの)] /The *souped-up* skis haven't been approved for Lillehammer. [NW, Feb. 21, '94, p.44 (改造した)] /more than just a *juiced-up* Nintendo, the exhibit resonates with sounds of crashes . . . [NW, Nov. 2, '92, p.53 (強化した)] /Russian Federation Chairman Boris Yeltsin — pronounced the *watered-down* plan “a catastrophe” and vowed that Russia would implement the Shatalin plan on its own. [NW, Oct. 29, '90, p.38 (質の低下した)] /Oil supplies and prices have not been a headache in recent years — thanks in part to *stepped-up* Saudi Arabian output. [TM, Nov. 11, '91, p.15 (=‘Raised by degree to a higher standard or level; increased, intensified.’— OEDS)] /Friday's typhoon-generated flooding . . . showed how difficult it is for a *built-up* metropolitan area like Tokyo to cope with heavy rainfall . . . [AEN, Aug. 29, '93, p.1 (建て込んだ, 住宅の密集した)] /But now the notion of California as a *wigged-out* free-for-all has become a legend, . . . [TM, Nov. 18, '91, p.47 (=‘slang: having lost touch with reality: CRAZY’—MWCD¹⁰)] /West Germans had a blueprint in mind when they built their *bombed-out* homes and industries; [NW, Oct. 8, '90, p.19 (爆撃で大被害を受けた)] /the constitution, which is basically a *patched-up* carry-over from communist days. [TM, Nov. 11, '91, p.18 (修正した)] /a lightly *reined-in* voracious beast [AEN, Sept. 2, '93, p.12 ((手綱を引いて) 制御された)] /he is now a middle-aged man with *swept-back* thinning hair, a large belly, . . . [Ibid., (後退した)] /Dan's elementary-school report cards, . . . and a *chewed-up* law-school diploma. [TM, Jan. 11, '93, p.50 (破れてボロボロの)] /Yakiniku restaurants enjoy *beefed-up*

popularity [AEN, Dec. 16, '93, p.5 ((見出し:) 盛り上がった, 更に高まった)] / Diaz-Parton, 33, . . . served three years in prison for shooting two rival gang members with a *sawed-off* shotgun. [TM, Aug. 17, '92, p.26 (先端を切り詰めた)] / the *blissed-out* war veteran in *The Razor's Edge* [TM, Mar. 1, '93, p.46 (ヤクで陶酔した)] / She says that at Juliana's, she can get rid of all her *pent-up* stress . . . [AEN, Aug. 7, '93, p.9 (= 'shut up: CONFINED' — MWCD¹⁰; 'pent' は pend の過去分詞に由来。「うっ積した」)]

以上の他, *fried-up, speeded-up, played-out, dug-in, cut-up, laid-off, built-in, ²⁶⁾ built-up, juiced-up, caved-in, added-on, slicked-back, slicked-up, screwed-up, stripped-down, hoped-for, sought-after, (long-) drawn-out, born-again, laid-back, unaccounted-for* 等の用例が手許にある。

Type 8 : 'Verb (root)+verb (root)'

Ex. *make-believe, hear-say, make-do* 等。(16~19世紀に出現した古い複合語が極く少数)

このタイプについては Adams (1973) は解説を加えていない。Bauer (1991) は名詞用法から限定用法が生まれる可能性を示唆している²⁷⁾。最新の例を二、三挙げることにしたい。

Today, Japanese are enthusiastically embracing populist democracy the way company songs were during the *go-go* growth years. [NW, Mar. 25, '96, p.39 (= 'being a time of great prosperity, economic growth, and optimism' — RHD ; (高度経済成長の))] / The strategy: to become a player, quickly, in one of the *go-go* industries of the 21st century. [NW, Mar. 27, '95, p.38 (活動的な; 大繁栄の)] / A *win-win* idea on U.N. dues [AEN, Nov. 7, '95, p.8 (= 'advantageous to both sides, as in a negotiation' — WCD); (見出し) (無難な; 双方とも満足のゆく)] / The proposal represents a compromise position between the administration and the

congress. But it is a *win-win-win* deal for the American people. [*Ibid.* (本文より)]

Type 9 : ‘Adjective/noun+noun’

Ex. *best-case, blue-chip, hard-core, dead-end, long-haul, high-end, high-profile, fast-track, double-digit, big-ticket, big-stakes, cracker-barrel, split-second, rubber-stamp* 等, 多数。

not that *old-line* organizations are exactly rushing to join Jackson’s parade. [*NW*, Jan. 10, ’94, p.23 (保守的な, 伝統的な)] / military history is filled with *hair-trigger* decisions to begin hostilities [*NW*, Oct. 29, ’90, p.5 (迅速な)] / Gasoline prices in Manhattan have leaped by *double-digit* percentage. [*NW*, May 13, ’96, p.42 (2桁の)] / The *big-name* performers compete mostly in Europe, where there is more money to be made. [*AEN*, Jun. 21, ’93, p.11 (有名な, 一流の)] / symbols of opulence, such as golf, foreign cars or *name-brand* goods [*AEN*, Aug. 16, ’93, p.3 (名の通った, ブランドの)] / the upstart airline accused it (i.e. British Airways) of a “*dirty tricks*” campaign to steal passengers. [*AEN*, Jan. 12, ’93, p.7 (不正工作の< ‘卑劣な行為’ より) (限定用法)] / a *bare-bones, ill-equipped* army [*AEN*, Feb. 13, ’93, p.2 (貧弱な)] / a *last-minute* rewrite of a cover story [*AEN*, Jun. 4, ’93, p.4 (ぎりぎりの時間の, 土壇場の)] / a nasty, *high-stakes* battle in Washington [*AEN*, Jan. 26, ’95, p.7 (いちかばちかの)] / Together they announced agreement on a *twin-track* negotiating initiative designed to help break the deadlock [*TM*, Dec. 11, ’95, p.38 (2つの方式・条件から成る)] / *two-bit* police informers and gangsters [*Ibid.*, p.38 (= ‘Slang. inferior or unimportant’ —*RHD*)] / the first *full-length* film created wholly by computer [*Ibid.*, p.55 (削除なしの, ノーカットの)] / Not all of Latin America is a *free-fire* zone. [*NW*, July 3, ’95, p.18 ((軍事)無差別砲撃(地帯))] / In a

rare act of *high-seas* assertiveness, Canadian patrol boats were seeking to seize the Spaniard's vessel . . . [NW, Mar. 27, '95, p.41 (公海の)] / *small-time* liquor shops [AEN, Feb. 2, '94, p.5 (= 'having little or no importance or influence'—WCD)] / the network's production facility has a *low-rent* look [TM, Feb. 17, '92, p.35 (= 'low in character, cost, or prestige'—MWCD¹⁰)] / . . . Owada's achievements, everything from her *top-notch* education — to her talents as a cook. [AEN, June 4, '93, p.4 (= 'first-rate'—RHD)] / Mountain Spa, a *high-end* resort and corporate retreat . . . will have a "Mediterranean feel . . ." [TM, Jan. 10, '94, p.41 (= 'being the most expensive and technically sophisticated'—RHD)] / *Top-drawer* U.S. buildings in major metropolitan areas [NW, Mar. 7, '94, p.33 (トップクラスの)] / Hong Kong people can't be sure yet whether they will get a *world-class* airport [NW, Jan. 17, '94, p.21 (世界一流の, 国際級の)] / An hour later, she knocked at the parade box . . . dressed only in a *thigh-length* minidress. [TM, Feb. 28, '94, p.35 (ももまでの長さの)] / Clichton's other major excursion into *cutting-edge* science involves the trendy field of complexity theory [TM, Oct. 2, '95, p.47 (最先端の; 'leading-edge' とも言う)] / *hot-button* issues like gays in the military, women in combat and the scaling down of the post-cold war military [TM, June 5, '95, p.15 (決定的な, 重大な)] / The *Dead-End* Kids [Ibid., p.53 ((見出し) 将来性のない)] / The sports card market, a *sure-fire* investment winner in recent years, is showing signs of topping out. [AEN, Feb. 9, '93, p.12 (= 'certain to get successful or expected results'—WNCD⁹; 成功疑いなしの)] / Investors are on the prowl again for top-notch properties for sale at *bargain-basement* prices. [NW, Mar. 7, '94, p.32 (格安の)] / his *cracker-barrel* philosophizing about . . . [NW, Apr. 10, '95, p.46 (単純素朴な; 月並みな)]

以上、マスメディアで多用されると思われる ‘nominal phrase’ 起源の複合語を列挙したが、これらの多くは比較的新しい造語に属している新語と見做すことが出来る。次々に必要を満たす目的で限定的に使用されているうちに、慣用的に確立するに至るのである。(従来からの古い複合語は用例からはずしてある)

一部しか用例は示していないが、ちなみに ‘high’ を第 1 要素とする複合形容詞を採集した用例から拾うと、-cal(orie), -definition, -end, -energy, -fashion, -fat, -hat, -level, -octane, -performance, -price(d), -profile, -quality, -rent, -resolution, -risk, -sea(s), -stakes, -tech(nology), -ticket, -vision, -voltage, -wire等の語が第 2 要素として使われており、一方、‘low’ の場合は第 2 要素に-budget, -cost, -grade, -intensity, -key(ed), -pollution等が見られる。budgetはbig-budget, endはtop-end, dead-end, year-end, caseはbest-case, worst-case, careerはtwo-career (またはdouble-career), trackはfast-track, double-track, levelはAlpine-level, entry-level, sizeはfull-size(d), king-size(d), queen-size(d), palm-size, timeはいろいろあり、all-time, big-time, small-time, one-time, longtime 等、種々の形がある。

Balkan-style, Stalin-era, five-star, full,(small,medium,large)-size, long-range(term,haul), three-way, full-steam, back-room, inner-city, first(second)-degree, long-odds, smart-ass, それに最新語と考えられる A-list や same-sex などの用例もあり、‘-collar’ に関する複合語にはwhite, blueの他に、gray-collar, pink-collar, rainbow-collar 等が新語として登場し始めている²⁸⁾。

Type 10: ‘Adjective+Adjective’

Ex. bitter-sweet, deaf-mute, social-economic; Franco-British, politico-economic

文学者、例えば Shakespeare による造語の fortunate-unhappy, harsh-rude や、Hopkins の手になる wet-fresh などの複合語は ‘appositional compound’ と呼ばれる。慣用的な bitter-sweet を除き、主として文学作品の中で使われるため、文学的な響きを持つと見做される²⁹⁾。undulating blue-green water,

elaborate *reddish-brown robes* など色彩に関するものもあるが、

The *white-hot* anger of the spring riots has subsided, . . . [NW, Oct. 5, '90, p.24 (= 'extremely hot'—RHD)] / The *red-hot* Hanshin Tigers beat the first-place Yakult Swallows 5-3 in ten innings . . . [AEN, July 27, '93, p.11 (= '1.very hot. 2.violent; furious. 3. characterized by or creating intense excitement or passion.'—WCD)]

の2つの用例では、white と red が第2要素を強める adverbial な働きをしている。次に

Oh, it's more than twice the size of the *military-industrial complex*. [NW, Nov. 30, '92, p.28 (軍産複合体制) 全体が 'nominal phrase' になっている] / the handsomely made, well-acted *literary-historical* drama [TM, Apr. 24, '95, p.62] / Anais is the delicate, exquisite, *French-Spanish-American* writer [NW, Oct. 29, '90, p.52] / a highly-successful *American-Hungarian* joint venture [AEN, Oct. 15, '90, p.48]

その他 *Serb-Croat*, *Israeli-Palestinian* などの用例があるが、連結形を用いた *politico-cultural* [TM, Jan. 11, '93, p.29] 型の *Greco-Roman*, *Franco-British*, *Anglo-American*, *Sino-British*, *Austro-Hungarian*, *Afro-American* 等の用例もある。

the *Austro-Hungarian* empire [NW, Nov. 26, '90, p.18] / A *Franco-British* agreement [AEN, Jun. 29, '93, p.6] / The *Sino-British* Joint Declaration preserves Hong Kong's autonomy [NW, May 22, '95, p.42]

Type 11: 'Adjective/noun+noun+-ed (suf.)'

Ex. *swallow-tailed*, *tightfisted*, *full-bodied*, *blue-denimed*, *broad-leaved*, *red-bereted*, *apple-cheeked*, *stony-faced*, *left-handed*, *light-fingered*, *like-minded*, *two-fisted*, *rock-ribbed* 等。

このタイプは多産型で、種類も数も多い。例えば '*barefooted*' = 'having bare feet,' '*light-footed*' = 'light of foot; nimble, active' と定義されているが、

'big-mouthed' は ① = 'having a very large mouth' (大口の); ② = 'very talkative; indiscreet; loudmouthed' (おしゃべりの; 軽率な; 大声の) [WCD] のように、比喩的な語義 (②) が加わることもある。'thick-skinned' = '① having a thick skin; ② callous, insensitive' / 'hard-headed' = '① not easily moved or deceived; practical; shrewd. ② obstinate; stubborn; willful. [RHD] (②の意味では 'hard-nosed' も 'hard-mouthed' も同義語)。同様に 'hard-fisted' は ①「けちな」、②「非情な」、③「たくましい手をした」の3つの語義を持ち、一方 'left-handed' は「左利きの」の他に「不誠実な」、 「不器用な」の意味もあり、'squaretoed' には「つま先が四角な」の意味のほか「旧式な、保守的な」の意味も有している。'blue-blooded' は「名門の出の」、'pig-headed' は「頑固な」を意味する。

Lillehammer, a quaint community full of kick sleds and apple-cheeked children [AEN, Feb. 13, '94, p.1] / stony-faced officials wrapped up two days of talks here [AEN, Jan. 27, '94, p.6 (無表情な顔つきをした)] / Broadcasts to Iraqi troop are hampered . . . by the lack of Iraqi-accented Arabic announcers. [NW, Oct. 15, '90, p.36] / In 1987 he launched . . . a heavy-handed campaign against the press [NW, Oct. 22, '90, p.26 (厳しい, 高圧的な)] / Genya, as the cherubic-faced Kissin is called [NW, Oct. 29, '90, p.56 (丸ぼちゃで愛らしい顔をした)] / the new tax, which Hosokawas adopted under pressure from the tightfisted Ministry of Finance [TM, Feb. 14, '94, p.17 (財布のひもが固い, 引締型の)] / This open-ended approach cheers America's Asian partners. [NW, Jan. 17, '94, p.20 (制限のない, 自由な)] / but with all its abusive, foul-mouthed yelling it feels long. [TM, Apr. 3, '95, p.56 (口汚い, みだらな言葉を使う)] / The camouflage-uniformed Americans . . . were met by welcoming Haitian officers. [AEN, Sept. 20, '94, p.1 (迷彩服を着た)] / the blue-denimed outlaws [NW, Nov. 16, '92, p.16 (デニムの服を着た)] / the kaniwa (a broad-leaved plant and source of nutrition grain) [NW, Nov. 30,

'92, p.47 (広葉の); *broad-leafed*とも言う。「紅葉した木々」は *red-leaved trees*, 「四つ葉のクローバー」は *four-leafed clover*, *four-leaved clover*, 単に *four-leaf clover*とと言う] /those crappy *blue-tinted* displays [NW, Aug. 5, '91, p.54 (青色の)] /Sales of a *blond-maned* toy called the Irene Doll soared. [NW, Dec. 18, '95, p.41 (金髪の)] /he chased a tall, "*bushy-haired*" intruder through the basement [NW, Feb. 12, '96, p.27 (もじやもじやの頭髪をした)] /On the campaign trail, Dole and most of his *second-tier* rivals — especially Gramm and Buchanan — are competing to pledge their allegiance. [NW, Feb. 12, '96, p.22 (二流の); -tieredが普通] /its (i.e. Chanel's) \$2,999 *double-breasted* tweed dresses for spring [TM, Mar. 25, '96, p.63 (ダブルの, 二重ボタンの)] /They have painted Zagreb's *independence-minded* leaders . . . [NW, Feb. 18, '91, p.39 (独立志向の); Shakespeare が *Henry VII* (part 2) の中で用いた '*bloody-minded*' は '*bloodthirsty*' にほぼ近い意味。-minded を用いた複合語は17世紀に生まれ, '*narrow-minded*' は1828年に Wordsworth の手になる造語³⁰。] /all small and *medium-sized* enterprises [AEN, Feb. 9, '93, p.7 (中型の) 車の場合は '*mid-size*' と言う] /the *blue-helmeted* force [AEN, Feb. 14, '93, p.1 (青ヘルをかぶった)] /Black tore up Stitch with a variety of *two-fisted* forehands and backhands [AEN, Sept. 6, '95, p.12 (両手を使った)] /a mass of *like-minded* graduates [AEN, Aug. 17, '93, p.9 (うまの合う)] /But they missed three *gilt-edged* chances to wrap up the game in the second [AEN, Aug. 16, '93, p.3 (最高の, 絶好の)] /*tart-tongued* Beatrice [TM, Oct. 19, '92, p.59 (辛辣な)] /he lacks the *broad-based* support [NW, May 22, '95, p.24 (広い層に基盤を持った)] /EC should adopt laws to ban . . . and require *double-hulled* vessels [AEN, Jan. 23, '93, p.1 (船体が二重構造の)] /the *chamomile-scented* vapor of the steam room [TM, May 20, '96, p.42 (カモミールの香がする)]

これ以外に多数の用例があるが、最後に一言 '*-eyed*' 型について補足

したい。green-eyed には「嫉妬深い」の意味も含有しているが、blue-eyed は、① (U.S. Slang)='white; Caucasian' の意味か ② (Canadian Slang)='Anglo-Saxon' の意味を表すのが最近の傾向であり、また新語として laser-eyed(='① having a piercingly aggressive expression; ② sharp-eyed') が登場している³¹⁾。

Type 12: 'Adjective/adverb+to-infinitive'

Ex. ready-to-wear, harder-to-copy; yet-to-emerge

このタイプは、本来 postmodification によって主要語を修飾する用法であったものが、主要語の前に位置して直接それを限定する不定詞付きの統語的複合語になったものである。adjective で始まる場合と adverb が先行する場合とがあるが、用法は異なっている。かなり多用される型で、'yet-to-be-examined rice' は「未検査米」の意。

This issue is the first edition produced with a brighter, easier-to-read new design, amply illustrated and enhanced with a color cover. [AEN, Jul. 23, '96, p.4 (一層読みやすい)] /liberals said the easy-to-conceal cruises would make verification impossible [NW, Feb. 18, '91, p.25] /New, hard-to-treat strains are rapidly gaining ground. [NW, Nov. 30, '92, p.36] /a tough-to-beat Marc (Girardelli) [TM, Jan. 25, '93, p.47 (勝つのがむずかしい)] /a yet-to-emerge, but distinctly Asian, balance of power [TM, Nov. 2, '92, p.20 (今後出現する)] /the not-to-be-married Irene (Jemma) [NW, Feb. 11, '91, p.47 (まだ結婚する予定のない)] /socialite turned journalist Sandy Hill Pittman — the soon-to-be ex-wife of MTV cofounder Bob Pittman—began filing the first reports of her Mount Everest expedition [NW, May 27, '96, p.48 (近く…になる筈の)] /The aftermath of an allied victory over Iraq will offer a perhaps never-to-recur opportunity. [NW, Jan. 28, '91, p.33 (二度と巡って来ることのない)]

Type 13: 'No+verb/noun'

Ex. *no-fly*, *no-win*; *no-frills*, *no-fault*, *no-growth*等。

このタイプでは、'no'の次に動詞が来るか、名詞が来るかのいずれかであり、数は限られている。the *no-fly zone* は「飛行禁止空域」の意味でよく使われる。*no-frills* も頻出タイプ。

The *no-fly* order was issued without any provision for enforcement [TM, Jan. 18, '93, p.21] / stock bought by Altman with *no-risk* loans from BCCI was part of a scheme to defraud bank regulators [AEN, Aug. 4, '93, p.7 (危険率ゼロの)] / Land Rover's creator, Spencer Wilks, would be surprised to find his *no-frills* vehicle as a fashion statement. [TM, Feb. 14, '94, p.27 (= 'stripped to or providing the bare essentials; without extras or embellishments.'—— 3rd Barnhart 「実質本意の；余分なサービスをしない」。本体のみで余計なアクセサリを付けない場合に用いる)] / a combat engineering remains a *no-frills* affair [NW, Feb. 11, '91, p.19] / Free Willy has a *no-fault* recipe for success. [TM, Aug. 2, '93, p.44 (申し分ない)の意] / It is potentially a *no-lose* situation for Teheran. [NW, Feb. 11, '91, p.24 (成功間違いなしの)] / *No-win* situation on ex-husband's wife [AEN, Nov. 2 '95, p.15 (勝目のない, 成功が望めない)] / "I wanted to fight. But she said I'd get life or the electric chair. I was in a *no-win* situation." [TM, Jan. 25, '93, p.38] / He fired hundreds of "phantom" bureaucrats from *no-show* jobs. [NW, Jan. 10, '94, p.8 ((約束の時間に) 現れない, 出頭しない, 欠席する, すっぽかす)] / I agree that the only absolutely *no-fail* contraception and protection against disease is indeed abstinence, but . . . [AEN, Oct. 3, '94, p.7 (失敗のない, 絶対確実な: 'fail-safe' と同義)] 以上の他, *no-growth* (ゼロ成長の), *no-strings* (付帯条件のない) などの用例がある。

Type 14 : 'Particle+noun'

Ex. *in-depth*, *in-hospital*, *in-flight*, *in-kind*, *on-board*, *off-kilter*, *off-Broadway*, *upmarket* 等。

第1要素 (particle) は主として *in*, *on*, *off*, *after*, *between* などの語が占めている。冠詞の 'the' を含まない2語構成の複合語を以下に示す。

And Toyota Motor Corp. plans to finance 10 new businesses headed by *in-house* entrepreneurs, including a horseback riding club . . . [NW, Mar. 25, '96, p.41 (企業内の, 社内の)] / round-the-clock news updates, special reports and *in-depth* financial statistics [NW, May 13, '96, p.41 (徹底的な, 綿密な)] / That problem can be partly solved by wing tanks and *in-air* refueling. [TM, Nov. 25, '91, p.46 (空中の)] / If anyone is to be credited — or flamed — for this *off-kilter* idea, . . . [NW, Apr. 15, '96, p.44 (= 'not in perfect balance: a bit askew'—MWCD¹⁰)] / He had . . . no *after-sales* service operation [NW, Nov. 6, '95, p.44 (販売後の)] / The Air Force still hasn't installed modern *in-flight* plumbing [NW, Feb. 18, '91, p.26 (機内の)] / . . . planning to require hospitals to employ a nurse specializing in the prevention of *in-hospital* injection of antibiotic-resistant bacteria, . . . [AEN, Jan. 12, '93, p.4 (院内の)] / Once a radar's signature is identified with the help of an *on-board* computer, . . . [NW, Jan. 28, '91, p.20 ((ミサイルに) 搭載 [内蔵] された)] / I didn't fret about getting lost; I knew my trusty *on-board* computer would point the way. [NW, May 4, '92, p.54 ((車内に) 搭載された)] / New York magazine began to offer *on-line* access to its database of listings [AEN, Jul. 27, '93, p.7; *online* とも綴る] / Our *on-time* computer system provides confirmed reservations at destinations worldwide. [AEN, Jul. 31, '93, p.12 (定刻の)] / *On-air* video jockeys (VJs) such as . . . have deliberately emptied their *on-camera* personalities of national character. [NW, Apr. 24, '95, p.39 ('*on-air*' = 'broadcast or broadcasting over the airways, instead of transmission by

cable.’ — 3rd Barnhart; ‘on-camera’=‘within range of a television or film camera; being televised or filmed.’ — 3rd Barnhart)] /the first official *on-site* interviews of so-called comfort women [AEN, Jul, 24, ’93, p.4 (現場の, 現地での)] /Beer is a popular *after-hours* drinking among workers. [AEN, Jul. 23, ’93, p.5 (閉店後の, 勤務時間外の)] /At racetracks and *off-track* betting locations around the nation, . . . [AEN, May 4, ’93, p.4 (場外での)] /I don’t think *off-Broadway* performance at *Tubes* . . . is “most bracing original.” [TM, Feb. 17, ’92, p.4] /an expensive treat in *upscale* Adelaide restaurants [AEN, Jul. 23, ’93, p.3 (= ‘high in status or prestige; upmarket.’—Register 89)]

以上のほか *in-kind*, *on-screen*, *off-duty*, *off-price*, *off-course*, *after-tax*, *before-tax*, *between-song* 等の用例がある。

Type 15 : ‘Noun+particle’

Ex. *hands-on*, *odds-on*, *top-down*, *bottom-up*, *gloves-off* 等, 数は非常に限定されている。

Ward Bennett is a *hands-on* designer. [NW, Jan. 21, ’91, p.46 (=‘having or willing to gain practical experience.’—ODNW)] /the first British journalists . . . to make a *hands-on* test of Soviet weaponry. [NW, Feb. 11, ’91, p.50 (実地の); ‘hands-off’からの類推による造語 — OED] /U.N. and relief officials were furious about IFOR’s *hands-off* approach. [NW, Mar. 25, ’96, p.33 (不干渉主義的)] /Branson . . . grinned and showed a *thumbs-up* sign [AEN, Jan. 12, ’93, p.7 (やったあ, と言う満足の(身振り))] /When the picture turns bad, users hit the *thumbs-down* button. [NW, Dec. 14, ’92, p.5 (駄目だという不満足の)] /But many analysts say the *odds-on* favorite in a presidential election would be another candidate, if he runs — Ershad himself. [NW, Mar. 18, ’91, p.33 (五分以上の勝目のある)] /a conspicuous hand-clapping, *eyes-skyward* player

as she stepped on the ice. [NW, Mar. 7, '94, p.39 (目を天空へ向けた)] /
Washington's *gloves-off* approach is likely to continue indefinitely. [TM,
Mar. 13, '95, p.29 (容赦しない, 手荒な)] /the chances of surviving a
head-on collision with a train [TM, Jan. 11, '93, p.10 (正面 (衝突)
の)] /a shift from the *top-down* style of management . . . to a more
collegial style . . . [TM, Sept. 28, '92, p.32 (上意下達方式の)] /Cf. There
was a *bottom-up* pressure, and then the top followed society's lead.
[Forbes, Apr. 8, '96, p.90 (下から上への)]

Type 16 : 'Quotation adjunct'

Jespersen の用語を借用する³²⁾。引用句・標語・諺が付加詞として使用さ
れる時に対して、この用語が適用されるが、命令文・平叙文・格言等、多様
な形があり、他の型と識別しにくい場合が多い。

Maybe it is Katsuki's glowing tan, or his muscular shoulders, or the *devil-
may-care*³³⁾ look on his face. [NW, Mar. 25, '96, p.40 (向こう見ずな)] /
Each time, the "*Japan will sink*" crowd offers a variety of explanations
[NW, May 11, '92, p.48] /He . . . deserves blame for blunders such as
rejecting his aide's advice to call a *let-it-all-hang-out* press conference . . .
[TM, Nov. 2, '92, p.36 (あけっぴろげに話す)] / . . . their *go-it-alone*
strategy means the Pentagon must spend more money than would be
required if . . . [AEN, Dec. 5, '94, p.6 (自主独立の)] /Garner wears his
you-can't-put-one-over-on-me character like a pair of fine weathered boots.
[NW, Jun. 13, '94, p.52 (到底人をだませそうにないお人好しの (性
格))] /a *winner-takes-all* situation [NW, Mar. 2, '92, p.14 (勝者がすべ
てを一人占めする (状況))] /In a hectic, *gobble-it-all-at-once* world, . . . ,
there's something reassuring about someone so deliberate and steady.
[NW, Jun. 26, '95, p.28 (何もかもゴクンと丸飲みしなければならないよ
うな (大忙がしの))] / . . . *we're-a-citizen-of-the-world* manifestoes of

corporate ethics are now de r gueur [*Ibid.*, p.33] /He can take some credit for Britain's *slow-but-steady* return to economic good health. [*NW*, Jul. 3, '95, p.24 (諺の前半を引用した例)] /He had been the macho campaigner, blitzing Michael Dukakis in a hail of *read-my-lips* rhetoric. [*AEN*, Oct. 22, '90, p.38 (He=George Bush; 減税公約をした時に用いた言葉で, 「私の言うことをよく聞きなさい」といった (巧みな言い回しで))] /That's the conservative, *play-it-safe* side that haunts me before I fall asleep at night. [*TM*, Mar. 27, '95, p.46 (安全第一主義の)] /the president wanted to project a *business-as-usual* image [*NW*, Jan. 28, '91, p.44 (いつもと変らない (イメージ)); 「平常どおり営業」(掲示) から] /Kane has written more than a *save-the-rain-forest* polemic. [*TM*, Mar. 25, '96, p.76] /Tens of thousands of allied and Arab guns are now trained on Saddam Hussein, awaiting a *make-my-day* provocation [*NW*, Oct. 29, '90, p.14 (やれるものならやってみろという (挑発))]

Type 17: 'Rhyme-/ablaut- motivated compound'

Bauer の用語を借用する³⁴⁾。子音交替 (Consonantal alternation) または母音交替 (Ablaut) による押韻合成語で, *hurly-burly* (1539年) や *wishy-washy* (1693年) のように, 初出年が16, 17世紀の古い複合語が, 今もって使われている。その数は全体としても少数であり, しかも nounかadverbとしての用法が多くを占めていて, adjective useは限定されている。今世紀に造語されたものも含め, 以下に示す。

(1) Rhyme-motivated compound:

Murray always imported a blithe, *loosey-goosey* air of getting through life on his terms, in his own high style. [*TM*, Mar. 1, '93, p.46 (リラックスした) 1967年初出。(米俗)] /All this... and sax-playing, all these *fuzzy-wuzzy* policy initiatives without ground rules or timetables, all this hopefulness. [*NW*, Jan. 24, '94, p.9 (不鮮明な,

あいまいな；この文では、*wuzzy* はリズム上の付加語で、本来は *fuzzy* と言うべきところ)。原意は‘an indigenous African’—*S & E*] /The key to NEC’s prototype Silicon Audio compact stereo player, a *teeny-weeny* solid-state sound system is a semi-conductor memory card. [*TM*, Jul. 17, ’95, p.47 (=‘tidy’ 「ちっちゃな」(幼児語))] /... an L.A. deputy district attorney not assigned to the case that the presentation was *herky-jerky*. [*TM*, Jul. 17, ’95, p.35 (ぎくしゃく進む；1957初出。この文では叙述用法)] /The CBOE is brash and *hurly-burly*, but it’s also astonishingly high-tech. [*NW*, Apr. 25, ’94, p.38 (=‘full of commotion; tumultous.’—*WCD* 「騒がしい、ごたごたした」。叙述用法)] /The *pell-mell* expansion of cities creates risks... [*TM*, Jan. 11, ’93, p.38 (乱雑な、めちゃくちゃな)]

などの用例があり、その他 *wilky-nilly* の副詞用法の用例がある。

(2) Ablaut-motivated compound:

The 32-year-old outfielder... told reporters upon his arrival that he is in *tip-top* shape just as he was some five years ago. [*AEN*, Feb. 19, ’93, p.12 (=‘first-rate, prime, superlatively good’—*OED*) 「申し分ない、最高の」] /Does Washington have some sinister motive behind its *wishy-washy* foreign policy, vis-a-vis China? [*TM*, Jun. 5, ’95, p.7 (優柔不断の、煮えきらない)]

以上のほか、押韻語として古くから存在する *namby-pamby* (=‘weak or indecisive’; 1726年初出), *harum-scarum* (=‘reckless/disorganized’; 1674), 及び加重語の *goody-goody* (=‘affectedly or ingratiatingly good or proper’; 1871)を加えておきたい。*helter-skelter*, *hanky-panky* は noun use の用例が手許にある。

Type 18: ‘その他’

これまで分類項目別に各タイプの複合形容詞の用例を提示して来たが、紙

幅の制約もあって、そのすべてを網羅的にカバーすることは非常に困難である。17のタイプに含められなかった変種、常套的表現、あるいは時事英語において多用される慣用的な言い回し等を最後に紹介して、本稿をしめくくることにしたい。

- (1) 第1または第2要素に verb を含むもの：(Type 6に属するものもある)

“The *feel-good* reports . . . are a betrayal of serious news values,” Simpon argued. [NW, Apr. 18, '94, p.44 (満足感を与える, いい気分にする)] / a *come-hither* album back cover featuring (by classical music's standards) some generous cleavage. [TM, Dec. 11, '95, p.51 ((性的に) 誘惑するような)] / Clinton, by then, had given himself up to the *pinch-me* feeling that he was going to win. [NW, Nov. 16, '92, p.47 (どの辞書にも記載なく意味不明)] / The *can-do* spirit is even stronger in Washington. [NW, Jan. 21, '91, p.21 (やる気のある, 意欲的な)] / his image as a *can-do* truth teller [TM, Nov. 9, '92, p.24]

- (2) 構成要素に adjective を含むもの：(Type 10に属するものもある)

. . . we can hope that Talbott will now teach Kozylev to drop his crowd-pleasing, *phony-tough* additude. [AEN, Feb. 2, '94, p.8 ((一般民衆の歡心を買うような) 強靱ぶった(態度))] / All this *touchy-feely* rhetoric and saxplaying, . . . [NW, Jan. 24, '94, p.9 (= 'characteristic of the sort of group therapy which stresses the importance of mutual touching'—Register 89) (軽蔑語) 「スキンシップを特徴とする」] / Such *nit-picky* attention to detail has kept Wall Street's expenses relatively flat even as revenues have skyrocketed. [NW, Sept. 6, '93, p.24 (ささいなことを詮索する, つまらぬことにもこだわる; 恐らく 'nit-pick' (v.) + 'picky' (adj.) の混交語かと思われる)] / . . . industry observers have wondered whether

squeaky-clean entertainment and its brash art-film subsidiary could live peacefully together. [NW, Apr. 10, '95, p.43 (= 'completely clean; freq. fig., above criticism, beyond reproach'—OEDS) 「健全な, 非の打ちどころがない」]

(3) 構成要素に particle を含むもの:

Whoever did it had both real inside knowledge and a *dead-on* eye. [NW, Feb. 12, '96, p.26 (= 'exactly right, accurate, or pertinent'—RHD)] / Plausible rumors versus *far-out* truths [AEN, Oct. 9-10, '95, p.7 (程遠い; 型にはまらない, 素晴らしいという意味で使われているのではない) (見出し)] / this god-send of a phrase is a *with-it* way of awakening those who have been too taken up with being *with-it*. [AEN, May 23, '93, p.7 (当世風の, 流行の先端に行く) (俗語)] / Nimitz stripped bare Pearl Harbor's defenses to mount an *all-out* attack on the Japanese invaders as they entered the Coral Sea. [TM, Dec. 2, '91, p.27 (総力を挙げての, 全面的な) adv. phr. 'all out' に由来.] / . . . on Tuesday pledged *all-out* efforts to drive the Liberal Democratic Party out of power . . . [AEN, Jan. 20, '93, p.1] / The *off-again-on-again* Team Spirit military exercise in South Korea [AEN, Mar. 11, '94, p.1 (断続的な); 次の用例のようにカンマを使用する方が多い] / The *on-again, off-again* negotiations over Palestinian autonomy were back on track Wednesday [AEN, Jan. 6, '94, p.2] / an *up-front* defense was too risky [TM, Jul. 4, '94, p.19 (正面からの) (多義語)]

(4) Type 9 に属するもの: (多数残っているが, 以下の2例のみを追加する)

"This is not a Democrat who is *knee-jerk* adversarial to business." [NW, Nov. 30, '92, p.31 (反射的な, 予測通りの対応を示す; この文では, 副詞的な働きをしていると見ることも出来る)] / He was in

deep *aw-shucks* mode, even admitting twice that he lacked the information to answer obscure questions. [NW, Jan. 12, '95, p.19 (きまり悪そうな, へどもどした; (俗語))]

- (5) 数詞と並置される特定語を含むもの: (-*strong*, -*odd*)

the 32,000-*strong* U.S.-led forces [AEN, Jan. 12, '93, p.20 (総勢32,000人の); '-*strong*' [兵員…の]] / a 5,000-*strong* police force [TM, Nov. 9, '92, p.12] / The 400-*odd* inhabitants of Céu do Mapiá [NW, Jan. 21, '91, p.33 (400人余りの(住民))] / tours that will take them to 40-*odd* cities [NW, Jan. 14, '91, p.54]

- (6) Journalese に類出する複合語構成要素を含むもの:

(a) '*-ever*'

序数や形容詞の最上級が第1要素を構成する複合型は、多用される傾向にある。

... it set out to make the *first-ever* computer-animated feature film. [TM, Feb. 26, '96, p.37] / Taiwan's *first-ever* direct presidential election next March [NW, Dec. 18, '95, p.36] / its *biggest-ever* annual loss [AEN, Jan. 20, '93, p.1] / South Korea tumbled into its *worst-ever* slump in more than a decade [AEN, Jul. 27, '93, p.7]

(b) '*-only*' (掲示の表現としての Adults *Only*. 「成人専用」とか Whites-*Only*. 「白人専用」の発展型か)

名詞を第1構成要素として類出。第1要素を '*all*' で置き換え、'*only*' を用いないこともある。

More than 85 groups ... formed a coalition Sunday seeking repeal of Colorado's anti-gay protection and "*English-only*" laws. [AEN, Jan. 12, '93, p.3] / Male baby elephants ... leave their parents and form a *male-only* group. [AEN, Jan. 7, '94, p.8 (雄だけの(群れ))] / A *standing-room-only* crowd of 1,700 watched ... [TM, Apr. 17, '95, p.49 (立見席以外は満員の)] / The *all-male* serving staff/a *men-only*

policy [NW, Apr. 17, '95, p.51 (2文を比較)]

(c) 'all-' (連結形として、異なる品詞とそれぞれの意味を持っている)

And then, there's the *all-female* violoncello quartet known collectively as Cello. [TM, Dec. 11, '95, p.51 (女性だけから成る)] / . . . to offer an *all-inclusive* Latin musical experience [AEN, Jun. 3, '93, p.11 (包括的な)] / . . . to return to the old totalitarian system with an *all-powerful* security police. [NW, Mar. 27, '95, p.35 (万能の)] / an *all-purpose* universal-joint conglomerate [TM, Mar. 27, '95, p.45 (汎用の)] / the idea of *all-weather*, year-round play. [AEM, Apr. 19, '93, p.2 (全天候の; どんな天候でも(プレイ)出来る)] / 33 *all-white* public schools [NW, Jan. 21, '91, p.30]

(d) 'near-' (連結形として、closely, nearly の意味を持つ adverb)

The four-time world champions. . . and gold medalists skated. . . with a *near-flawless* blues routine. [AEN, Jan. 8, '94, p.12 (ほとんど完璧な)] / The plan combines spending cuts and *near-record* tax rises. . . [AEN, May. 29, '93, p.2 (ほとんど空前の) (増税)]

(e) 'not-so-' / 'not-too-' / 'none-too-' / 'all-too-' / 'way-too-' / 等。

'not-so-' と 'not-too-' については、すでに例文を挙げているので割愛する。

Academy president Arthur Hiller's *none-too-snappy* plea for arts funding [NW, Apr. 10, '95, p.52 (歯切れの悪い)]; 'none-so-pretty' は植物名を表す名詞 / we know the curtain is about to come down on an *all-too-briefer* era in American entertainment. [NW, Feb. 12, '96, p.49 (余りにも短か過ぎた(時代))] / So where to turn for original characters with *all-too-human* weaknesses? [TM, Dec. 11, '95, p.55] / a *way-too-handsome* galoot [TM, Nov. 25, '91, p.56 (実にハンサム

な (奴) ; 'way'=(adv.) 'to a great degree; far'—WCD]

VII. 結語

Premodifier として主要語の前に位置し、限定的にその名詞を修飾する 2 個以上の構成要素から成る 'compound adjective' について、その多種・多様な型 (タイプ) と用法、及びそれぞれの特徴を指摘し、実際の用例を通して詳細に記述しながら、現代の時事英語の中で進行しつつある Premodification という一つの言語的傾向の明確化を試みた。英字新聞と *Time*, *Newsweek* などの newsweeklies (時事週刊誌) から、5 年有余にわたって採集した生きた用例を提示して、今後ジャーナリズム英語、科学英語、コンピュータ英語において益々多彩且つ大胆に展開すると思われるこの言語的現象の実態を浮き彫りにする努力を傾注したつもりであるが、本稿では紙幅の制約から、3 つの主要な型 (① 'Noun+adjective,' ② 'Noun/adjective+verb (-ed),' ③ 'Group-compound') に関する検討結果の記述は大部分割愛し、次回に回さざるを得なかった。

今回のように科学技術の進歩が著しい時代にあっては、政治・経済・科学・文化・教育・医学方面は勿論、戦争・地域紛争・公害・犯罪等の分野においても、新しい現象・概念を表す語句を創造する必要性から新造語が次々に造られ、その造語法の一つとして複合語化 (compounding) があるのである。そしてこれは、本稿で見た通り、*Time*, *Newsweek* が愛用する技法の一つと言える。特に、湾岸戦争 (the Persian Gulf War) の時期には両誌とも、compounding に基づく多数の軍事用語 (ミサイル、航空機、戦車、その他最先端兵器名) が毎週紙面をにぎわした (例えば、NW, Jan. 21, 28; Feb. 4, 11, 18, 25, etc., 1991)。

簡短・明晰を旨とするジャーナリズム英語では、新奇な事件や現象を描写・説明するに当って、表現の経済性を計り、月並みな表現を回避し、いわば手垢のついていない斬新な表現を可能な限り志向する。その結果、しばし

ば口語体から俗語の領域に踏み込むこともある。今回採集した用例の中には少なからぬ数の俗語も含まれ、またホットニュースを扱う新聞と *newsweeklies* の性格から、過去20～30年間に新造された新語がかなり混入していた。参照した各種の新語辞典や *RHD, OEDS* にも記載されていない複合語も少なからずあった。

即席に必要な迫られて造り出された臨時語 (Nonce word) も時々現われるが、まだ慣用的に確立していない段階のもので、用例としては控え目に扱った。また古くからある一般的な複合語は、少数を除いて意図的にはずし、むしろ新しい息吹きを感じさせるような新造語を優先的に提示した。

今回の論文において扱う予定の前述した3種の型を除き、複合形容詞の17のタイプ (Type 1～Type 17) のうち、今後とも多くの新造語が *compounding* によって生成されると予想されるタイプは、恐らく Type 1 を筆頭に、Type 9 と Type 11、特に Type 9 の ‘nominal phrase’ 由来の複合語は今後新語の形で多数登場することが予想され、更に Type 6 と Type 7 が多産型と見做すことが出来る。Type 3、次いで Type 2 も多産型に属しているが、Type 14 の ‘particle’ を含む型もじわじわと増加している。以上が現時点での推定である。すべてのタイプについての分析・記述が完了する次回において、全体像を把握した総合的な判定をよりの確に下すことが可能になると思われる。

Notes

- 1) *Webster's Standard American Style Manual*. [以下 *Style Manual* と略す]
.1985. Springfield, Mass.: Merriam-Webster. ‘Compounds’ (pp.82-95);
Quirk, R. *et al.* (*CGEL*, 1.59, p.1569); Fowler, H.W. (*MEU*, ‘hyphens,’ pp.
255-258).
- 2) Pyles, Thomas. *The Origins and Development of the English Language*.
1971. New York: Harcourt Brace Jovanovich, Inc. 2nd edn. p.290.
- 3) Fowler, *op. cit.* p.256.; Evans, Bergen. (*CAU*, ‘HYPHENATED
COMPOUNDS,’ pp. 109-110); *Style Manual, op. cit.* p.89. なお同書には

‘Adj./noun+participle, Adjective/noun+noun+ed, Noun+adj.’ 型の場合には、たとえ叙述用法でも通例ハンフンを用いるという記述がある(p.89).

- 4) *OED*, ‘Well-off, 1 .In predicate, normally without hyphen./Wide-awake, 1 .predicatively, (usually) as two words; attributively, as one without hyphen . . . ’
- 5) Fowler, *op. cit.* pp.256-7.
- 6) Bernstein, Theodore M. *The Careful Writer: A Modern Guide to English Usage*. 1965. New York: Atheneum. p.366. ; Copperud, R.H. *Consensus*, p.188.
- 7) Fowler, *op. cit.* p.257 ; Quirk, *CGEL* (1989), § I.17 (p.1537) & § I.59 (p.1569).
- 8) *OED* (‘Cutthroat’)によると、1535年に最初は名詞として ‘One who cuts throats; . . . a murderer or assassin by profession’ (「殺し屋, 暗殺者」)の意味で使われ、語義と用法が転じて 1567年に限定用法 (attributive use)に発展して今日に及んでいる。
- 9) Sweet, Henry. *NEG, PART I*. § 50 (p.19) & § 923 (p.295); Sheard, J. A. *The Words We Use*. 1970. London: Andre Dentsch. pp.63-4.
- 10) Sweet, *op. cit.* § 440 & § 441 (pp.153-4).
- 11) Jespersen, Otto. *MEG*, part II. § 14. 81. & § 14. 82. (pp.352-3).
- 12) Zandvoort, R.W. *Handbook*, § 806 (p.278) & § 818 (p.283). 例えば ‘happy-go-lucky’ のような語を § 818 (p.283) の中では non-syntactic group と称している。
- 13) Matthews, P.H. *Morphology*. 1971. Cambridge : Cambridge University Press. 2nd edn. pp.88-9.
- 14) (12) ~ (15) までの4例は *Style Manual* (pp.88-9)より借用。
- 15) bailout (またbail-out) (緊急脱出; 緊急援助), blissout (またbliss-out) (至福, 恍惚), gundown (射殺), hangout (またhang-out) (暴露, 全

面公開), layoff (一時解雇。この語は少し古い造語), pullout (撤退), shoot-down (撃墜), spin-off (また spinoff) (副産物; 波及効果), standoff (行き詰まり)。このような 'phrasal verb' 由来の名詞は次々に造られている。

- 16) Hughes, Geoffrey. *Words in Time : A Social History of the English Vocabulary*. 1989. Oxford: Basil Blackwell Ltd. pp.142-3.
- 17) Adams, Valerie. *Introduction* (1973), p.103; Hughes, *op. cit.* p.171.
- 18) O'Donnell, W.R. & Loreto Todd. *Variety in Contemporary English*. 1992. London: Routledge. 2nd edn. pp.110~114.
- 19) *Ibid.* pp.113-4.
- 20) Adams, *op. cit.* pp.92-101, pp.117-9, & pp.121-6.
- 21) Bauer, Laurie. *English Word-formation*. 1991. Cambridge: Cambridge University Press. pp.201-2.
- 22) Bernstein, *op. cit.* p.367; *Style Manual*, *op. cit.* p.88.
- 23) 種々の肉体的あるいは精神的な障害を表す語彙を遠曲な語句で置き換える風潮が 1980年代の初期に現われ始め、その後 'PC' 語として多数の遠曲語彙が生まれ今日に至っている。disabled や handicapped を使用せずに、'differently abled', 'otherly abled' などと表現し、更に 'aurally challenged' (= deaf, hard of hearing), 'horizontally challenged' (= fat), 'vertically challenged' (= small; smaller or taller than average) などの表現が造り出されている。
New Words (p. 1), *PC* (pp.24-5) に詳しい説明がある。
- 24) イギリス人の学者が書いた著書を 2 冊チェックしたところ、Foster, B. *The Changing English Language* (1972) では 'fully-fledged' (p.113) 形を用いており、また *LDCN* では見出しは fully-fashioned (-fledged) 形を掲げ、括弧内に *AmE* として full- 形を挙げている。同じく Barber, C. (1964) にも 'fully-fledged' 形あり (p.87).
- 25) Bauer, *op. cit.* p.212.

- 26) Foster, *op. cit.* 'built-in' について, "... another recent vogue word *built-in* is ultimately from the German *eingebaut*, ..." (p.106) と記し, ドイツ語の影響を示唆している。1957年発行の自動車のカタログに 'in-built heater and radio' という複合語が使われている事実にも言及している。
- 27) Bauer, *op. cit.* p.212.
- 28) Barnhart, David K. *Neo-words*, pp.13 & 53.
- 29) Adams, *op. cit.* p.96.
- 30) Foster, *op. cit.* pp.183-4.
- 31) 3rd Barnhart, p.61 & *Neo-words*, p.46.
- 32) Foster, *op. cit.* pp.182-3. アメリカ生まれの *off-key*, *off-beat* は1950年代にイギリスに入って盛んに使われたという記述があり, このタイプは断然米語が主流。
- 33) Jespersen, *MEG*, Part II. § 14. 81. (p.352).
- 34) Potter, Simeon. *Changing English*. 1975. 2nd revised edn. London: Andre Deutsch. 'devil-may-care' (= 'wildly reckless ; careless and rollicking' — *OED*) は C. Dickens が *Pickwick Club* (1837年) の中で作中人物に使わせた事実に触れている (p.106).
- 35) Bauer, *op. cit.* § 7.2.6 & § 7.2.7 (pp.212-3).

References

(注)末尾の [] 内は本稿で用いた略字を示す。

- Ayto, John. (1989). *The Longman Register of New Words*. Harlow, Essex: Longman. [*Register 89*]
- . (1990). *The Longman Register of New Words*. Harlow, Essex: Longman. [*Register 90*]
- & John Simpson. (1992). *The Oxford Dictionary of Modern Slang*. Oxford: Oxford Univ. Pr.
- Barnhart, Clarence L., Sol Steinmetz & Robert K. Barnhart. (1980). *The Second*

- Barnhart Dictionary of New English*. New York: Barnhart/Harper & Row.
- Barnhart, Robert K. *et al.* (1990). *Third Barnhart Dictionary of New English*. H.W. Wilson Co. [3rd Barnhart]
- Barnhart, David K. (1991). *Neo-words: A Dictionary of the Newest and Most Unusual Words of Our Times*. New York: Macmillan Publishing Co. [Neo-words]
- Barber, Charles. (1964). *Linguistic Change in Present-day English*. London: Oliver & Boyd.
- Bauer, Laurie. (1983). *English Word-formation*. Cambridge: Cambridge Univ. Pr.
- Bernstein, Theodore M. (1965). *The Careful Writer: A Modern Guide to English Usage*. New York: Macmillan Publishing Co.
- Burchfield, Robert W. (1989). *Unlocking the English Language*. London: Faber and Faber Ltd. Paperback edn.
- . (1992). *Points of View: Aspects of Present-Day English*. Oxford: Oxford Univ. Pr. Paperback edn.
- Copperud, Roy H. (1980). *American Usage and Style: Consensus*. New York: Van Nostrand Reinhold Co. [Consensus]
- Evans, Bergen & Cornelia Evans. (1957). *A Dictionary of Contemporary American Usage*. New York: Random House. [DCAU]
- Foster, Brian. (1972). *The Changing English Language*. London: Macmillan Press Ltd. Reprinted.
- Fowler, H.W. (1972). *A Dictionary of Modern English Usage*. 2nd edn. (rev. Ernest Gowers). Oxford: Clarendon Pr. [MEU]
- Freeman, Morton S. (1991). *Words to the Wise*. New York: Meridian.
- Green, Jonathon. (1985). *Webster's Standard American Style Manual*. Springfield, Mass.: Merriam-Webster. [Style Manual]

- Green, Jonathon. (1991). *Bloomsbury Neologisms: New Words since 1960*. London: Bloomsbury Publishing Ltd.
- (1978). *Longman Dictionary of Contemporary English*. Harlow & London: Longman. [LDCE]
- Hughes, Geoffrey. (1989). *Words in Time : A Social History of the English Vocabulary*. Oxford : Basil Blackwell Inc.
- Jespersen, J.O.H. (1990). *A Modern English Grammar on Historical Principles*. London: George Allen&Unwin Ltd./Copenhagen: Ejnar Munksgaard. (Facsimile reprint; Meicho Fukyu Kai, Tokyo). Parts I — VII. [MEG]
- (1993). *Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*. Springfield, Mass.: Merriam-Webster, Inc. 10th edn. [MWCD¹⁰]
- (1986). *12,000 Words: A Supplement to Webster's Third New International Dictionary*. Springfield, Mass.: Merriam-Webster, Inc. [12,000 Words]
- Matthews, P.H. (1991). *Morphology*. Cambridge: Cambridge Univ. Pr. 2 nd edn.
- O'Donnell, W.R. & Loreto Todd. (1992). *Variety in Contemporary English*. London & New York: Routledge. 2 nd edn.
- Murray, J.A.H., et al. (1970). *The Oxford English Dictionary*. 13 vols. Oxford : Oxford Univ. Pr. (Reprinted). [OED]
- Burchfield, R.W. (1972-86). *A Supplement to OED*. 4 vols. Oxford: Oxford Univ. Pr. [OEDS]
- Potter, Simeon. (1975). *Changing English*. London : Andre Deutsch. 2 nd revised edn.
- Pyles, Thomas. (1971). *The Origins and Development of the English Language*. New York: Harcourt. 2 nd edn.
- Quirk, Randolph. (1986). *Words at Work: Lectures on Textual Structure*. Harlow, Essex: Longman.

- , et al. (1989). *A Comprehensive Grammar of the English Language*.
London & New York: Longman Inc. [CGEL]
- & Gabriele Stein. (1990). *English in Use*. Harlow, Essex :
Longman.
- Rees, Nigel. (1993). *The Politically Correct Phrasebook*. London: Bloomsbury
Publishing Ltd. [PC]
(1987). *Random House Unabridged Dictionary*. New York: Random
House. 2nd edn. [RHD]
(1991). *Random House Webster's College Dictionary*. New York :
Random House. [WCD]
- Sheard, J.A. (1970). *The Words We Use*. London: Andre Deutsch Ltd. (The
Language Library).
- Sweet, Henry. (1952). *A New English Grammar: Logical and Historical*. 2 vols.
Oxford : Clarendon Pr. [NEG]
- Thorne, Tony. (1990). *Bloomsbury Dictionary of Contemporary Slang*. London:
Bloomsbury Publishing Ltd.
- Tulloch, Sara. (1991). *The Oxford Dictionary of New Words: A popular guide to
words in the news*. Oxford: Oxford Univ. Pr. [New Words]
(1991). *Webster's Ninth New Collegiate Dictionary*. Springfield, Mass. :
Merriam-Webster, Inc. [WNCD⁹]
- Zandvoort, R.W. & J.A. van Ek. (1975). *A Handbook of English Grammar*.
London : Longman. 7th edn. [Handbook]
- なお、和書は主として以下のものを参照した。
- 小西友七・安井稔他編『ランダムハウス英和大辞典』（第2版）1994。小学館。
- 松田徳一郎 監修『リーダーズ・プラス』1994。研究社。
- 堀内克明・斎田一路・高田正純編『最新英語情報辞典』（第2版）1986。小学館。

大滝 真

高部義信著『アメリカ新語辞典（増訂新版）』1986. 研究社。

大塚高信・中島文雄編『(研究社) 新英語学辞典』1982. 研究社。

池田拓朗著『英語文体論』1992. 研究社。

(本学経営学部教授)